

印西市立図書館サービス計画（案）

印西市教育委員会

印西市立図書館サービス計画（案） 目次

| | |
|---|----|
| 第1章 計画の策定に向けて | 1 |
| 1 計画策定の趣旨 | 1 |
| 2 計画の位置づけ | 1 |
| 3 計画の期間..... | 2 |
| 4 計画の策定体制..... | 2 |
| 第2章 現状と課題 | 3 |
| 1 図書館を取り巻く現状..... | 3 |
| 2 市立図書館を取り巻く現状..... | 6 |
| 3 図書館サービスに関する市民意識調査結果..... | 22 |
| 4 課題の整理..... | 30 |
| 第3章 目指す市立図書館の姿 | 32 |
| 1 図書館の使命..... | 32 |
| 2 基本理念..... | 32 |
| 3 印西市立図書館の目指す姿..... | 33 |
| 4 図書館の基本方針 | 34 |
| 第4章 基本方針の実現に向けた図書館サービス計画..... | 35 |
| 1 市民の「知りたい」「学びたい」「調べたい」を支える図書館サービス..... | 36 |
| 2 子どもたちの未来を育み可能性を広げる図書館..... | 54 |
| 3 市民のくらし、地域の拠点となる図書館..... | 64 |
| 4 住みよさを実感できる図書館..... | 67 |
| 第5章 計画の推進に向けて | 72 |
| 1 サービス計画評価の指標..... | 72 |
| 2 計画の進行管理..... | 72 |

資料編

第1章 計画の策定に向けて

1 計画策定の趣旨

平成20年の図書館法の改正に伴い、第7条の2設置及び運営上望ましい基準、第7条の3運営の状況に関する評価等、第7条の4運営の状況に関する情報の提供という三つの条項が新設されました。

それに伴い、平成24年「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が改正され、公立図書館は、事業の実施等に関する基本的な運営の方針を策定するとともに、目標指標を設定し、年度ごとの事業計画を策定し公表するよう努めることとなりました。また、各年度の運営状況に関する点検・評価を行うよう努めるものとなりました。

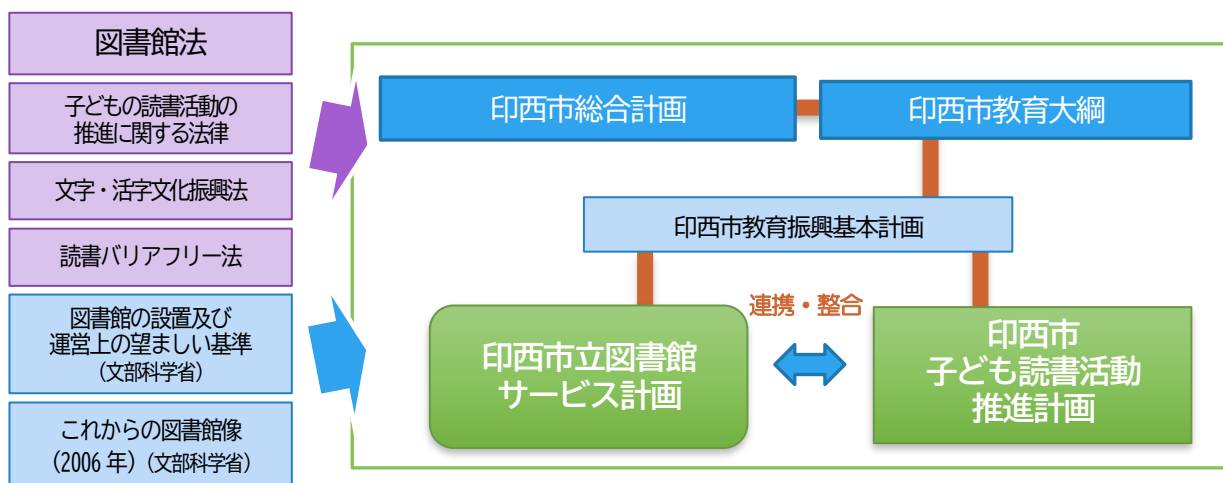
印西市立図書館では平成23年度より「印西市立図書館サービス評価指標」を作成し、評価指標に係る目標の設定、自己点検及び自己評価を行い、印西市立図書館協議会による第三者評価を受けその結果を公表してまいりました。

これまでは、「印西市立図書館サービス評価指標」による業務の改善を図ってきましたが、社会や生活の変化に伴い公共図書館に求められる機能に変化が生じ、図書館サービスの内容も多様化していることから、図書館サービス計画を策定し、市民のための施設として、市民ニーズの増大や多様化に対応サービスの充実を図ってまいります。

2 計画の位置づけ

本計画は、図書館法をはじめとする図書館に関する法令及び関係法令等を踏まえ、図書館の設置及び運営上の望ましい基準で定められている運営方針及び事業計画として策定するものです。

策定にあたっては、市の最上位計画である「印西市総合計画」、市の教育に関する総合的な方針である「印西市教育大綱」、「印西市教育振興基本計画」を踏まえ、「印西市子ども読書活動推進計画」と連携・整合を図るものとします。



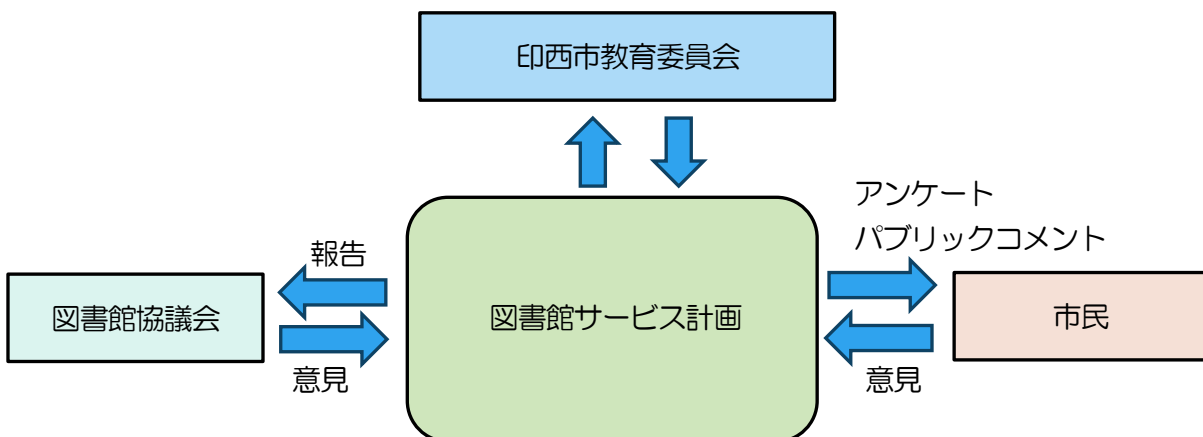
3 計画の期間

計画の期間は令和6年度（2024年度）から令和15年度（2033年度）までの10年間とします。計画の中間年度にあたる令和10年度（2028年度）に中間評価を実施し、計画の達成状況、図書館を取り巻く社会状況の変化、上位計画の変更を踏まえ、施策の見直し等を行います。

| 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 | 令和13年度 | 令和14年度 | 令和15年度 | | |
|----------------------------|-------|-------|-------|-------|------------|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|------|--|
| 印西市総合計画 基本構想 | | | | | | | | | | 次期総合計画 | | | | |
| 第1次基本計画 | | | | | 第2次基本計画 | | | | | | | | | |
| 印西市教育大綱 | | | | | 次期教育大綱 | | | | | | | | | |
| 第2期印西市教育振興基本計画 | | | | | 次期教育振興基本計画 | | | | | | | | | |
| 令和6年度～令和15年度 印西市立図書館サービス計画 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 中間評価 | | | | | | 最終評価 | |
| 印西市子ども読書活動推進計画（第四次） | | | | | | 次期子ども読書活動推進計画 | | | | | | | | |

4 計画の策定体制

「印西市立図書館サービス計画」は図書館が主体となり策定します。印西市立図書館協議会へ計画の進捗状況を報告し、意見を聴取するとともに、アンケートによる市民意向の把握とパブリックコメントによる意見聴取を行い、計画に反映します。計画は印西市教育委員会により決定します。



第2章 現状と課題

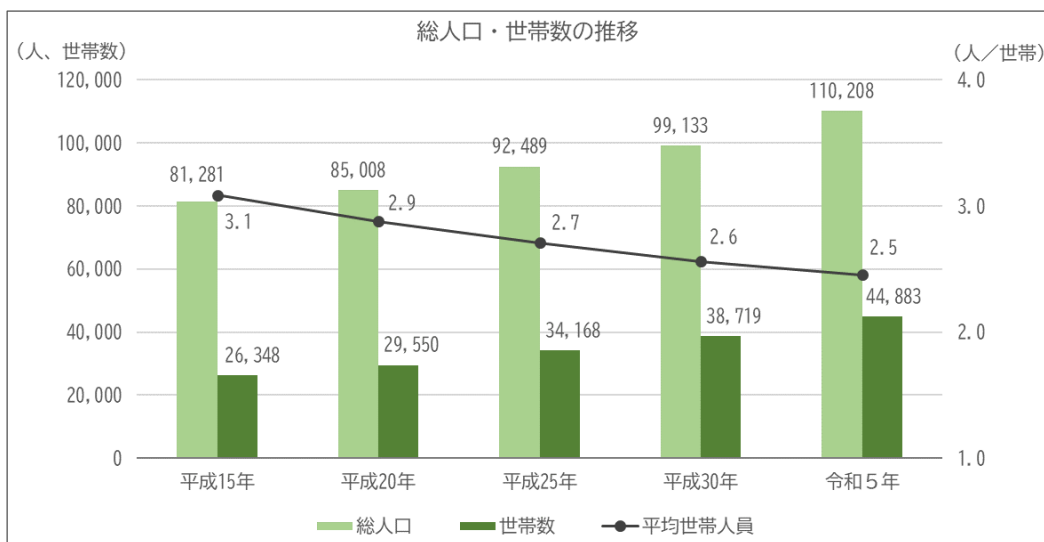
1 図書館を取り巻く現状

● 印西市の現状

印西市の人口は、令和5年（2023年）4月1日時点で110,208人となっており、平成15年（2003年）以降、一貫して増加しています。

年齢3区分別人口の推移を見ると、人口割合では、0～14歳の割合は平成20年に減少しましたが、平成25年以降は増加傾向にあります。65歳以上の割合は増加が続いており、平成30年には20%を超えています。

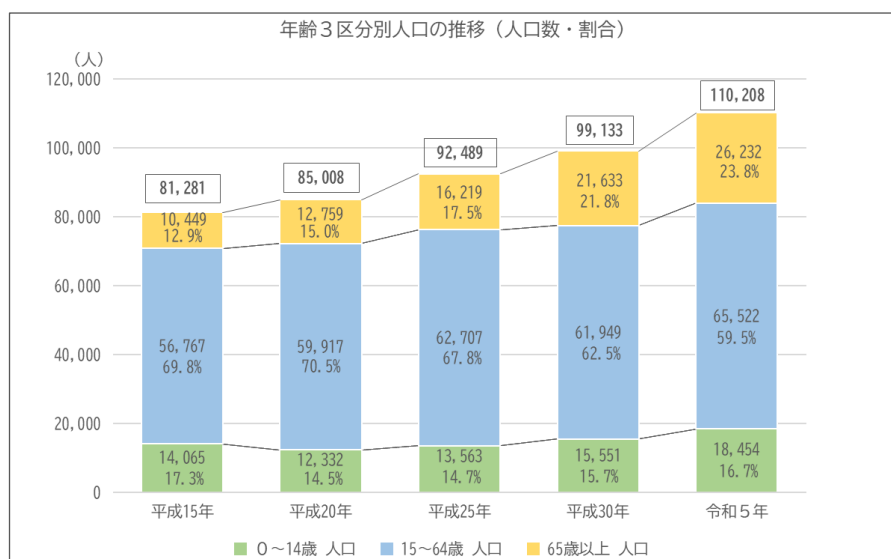
● 総人口・世帯数の推移



(資料：千葉県年齢別・町丁字別人口（各年4月1日時点）)

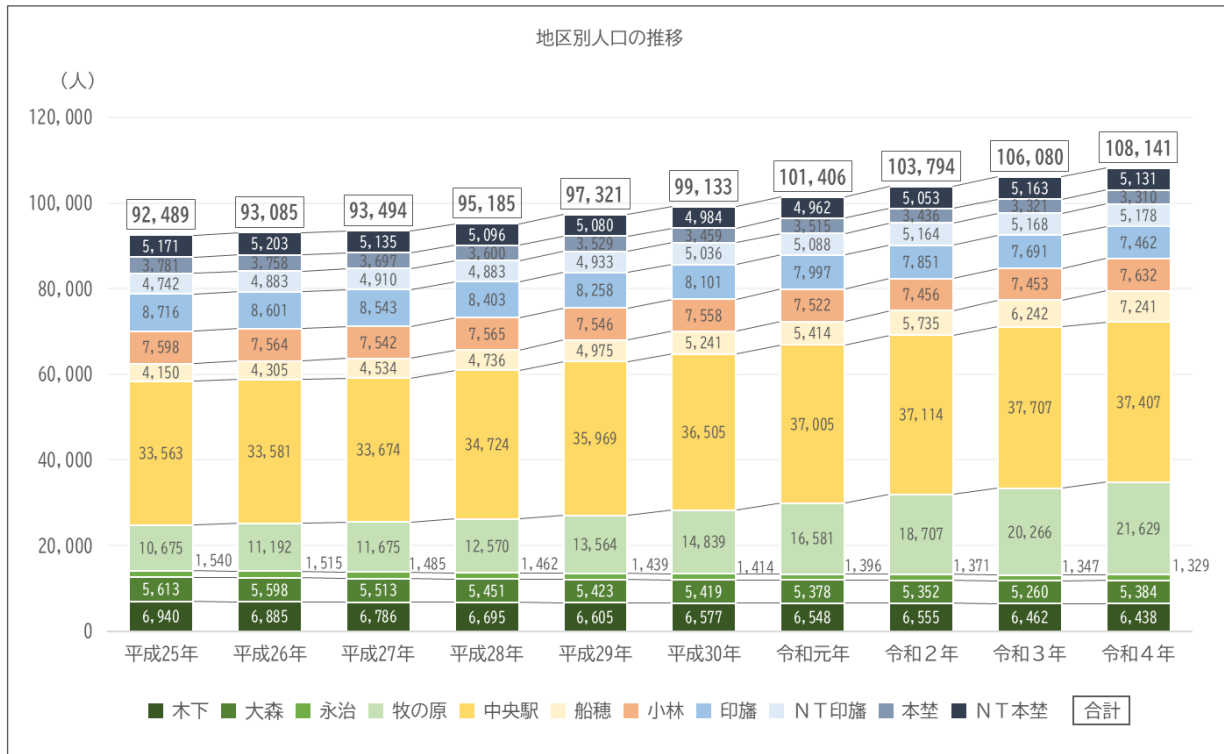
※平成15年及び平成20年は、合併前の印旛村及び本埜村人口を合算した数値である。

● 年齢3区分別人口の推移（人口数・割合）



(資料：千葉県年齢別・町丁字別人口（各年4月1日時点）)

●地区別人口の推移



(資料：データいんざい2022)



図 市全域と各図書館の位置図

● 千葉県の公立図書館の現状

令和5年（2023年）の印西市の図書館の蔵書冊数は548,493冊で、人口1人あたりの蔵書冊数は5.10冊となり、これは千葉県の市町村立図書館（分館・移動図書館、公民館等を含む。）の平均値よりも高くなっています。また、印西市の図書館の個人貸出冊数は814,954冊で、人口1人あたりの貸出冊数は7.58冊となり、こちらも同様に県内市町村平均値よりも高くなっています。

一方、人口1人あたりの図書費は、137.62円で県内市町村平均を下回っています。

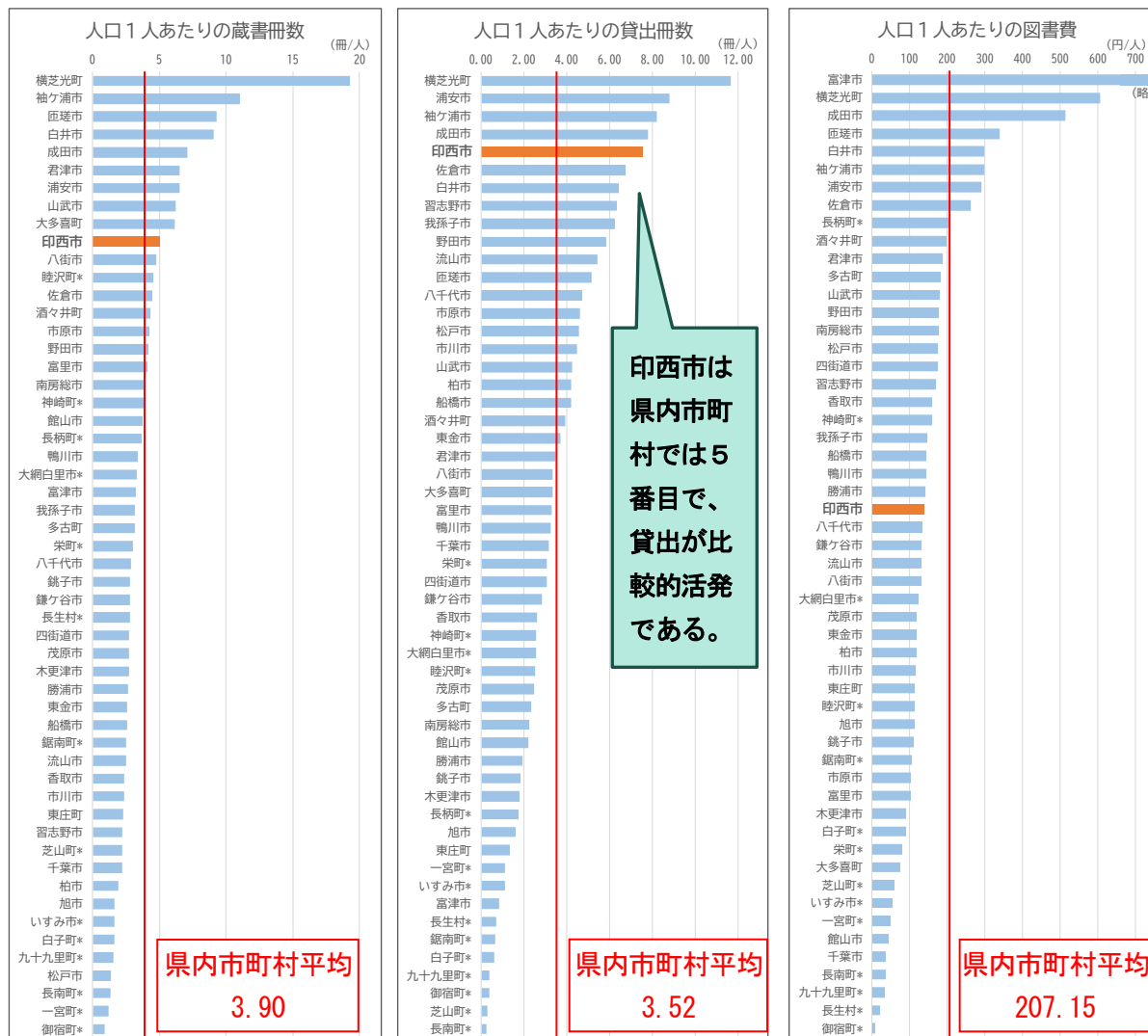
人口1人あたりの蔵書冊数及び貸出冊数

| | 印西市 | 県内市町村平均 |
|------------------------|---------|----------------------|
| 管内人口※ ¹ （人） | 107,463 | 116,103.2 |
| 蔵書冊数（冊） | 548,493 | 367,265.0 |
| 個人貸出冊数（冊） | 814,954 | 507,854.6 |
| 人口1人あたりの蔵書冊数（冊/人） | 5.10 | 3.90※ ² |
| 人口1人あたりの貸出冊数（冊/人） | 7.58 | 3.52※ ² |
| 人口1人あたりの図書費（円/人） | 137.62 | 207.15※ ² |

（資料：千葉県の図書館 2023）

※¹ 管内人口の総数は、『千葉県毎月常住人口調査月報』（令和5年4月1日現在）

※² 県内市町村平均値は、各市町村の人口1人あたりの蔵書冊数、人口1人あたりの貸出冊数及び人口1人あたりの図書費の平均値をとったものである。

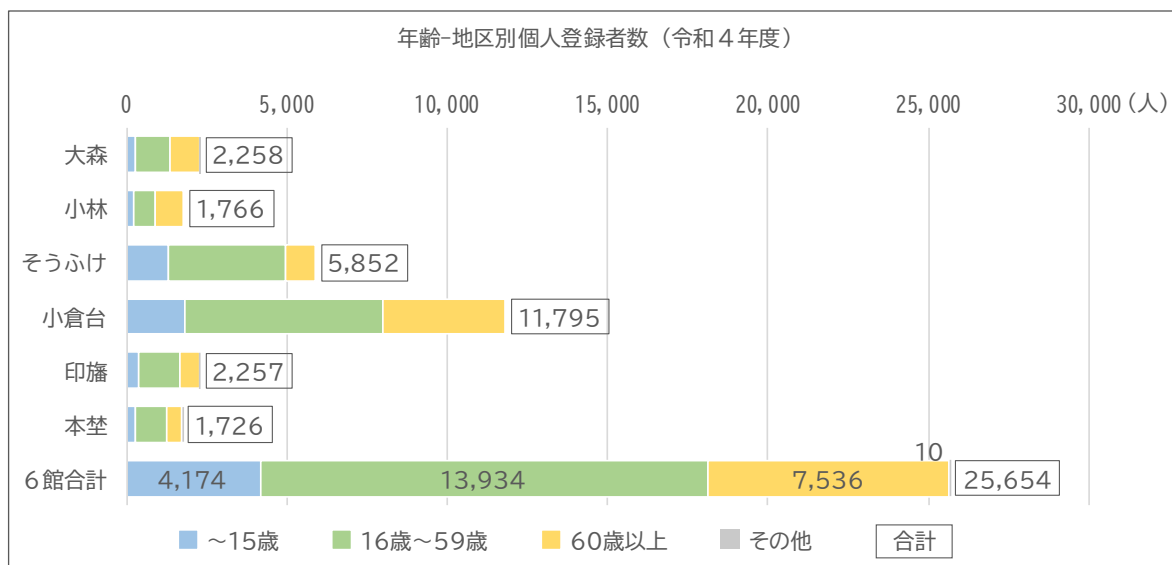


2 市立図書館を取り巻く現状

●市立図書館の現状

●年齢-地区別個人登録者数（令和4年度）

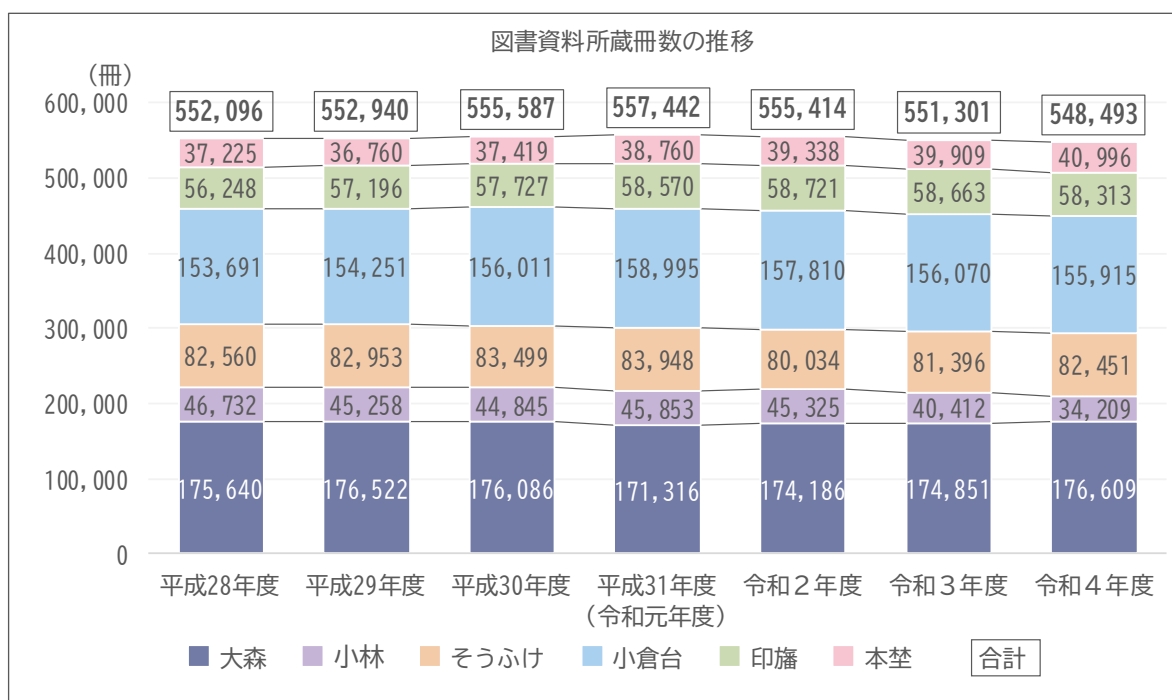
小倉台が最も登録者数が多くなっています。小林は60歳以上の登録者が半数近くを占めています。



（資料：印西市立図書館統計（令和4年度））

●図書資料所蔵冊数の推移

所蔵冊数はおおむね横ばいとなっています。大森、小倉台の順に多く、本埜が一番少なくなっています。

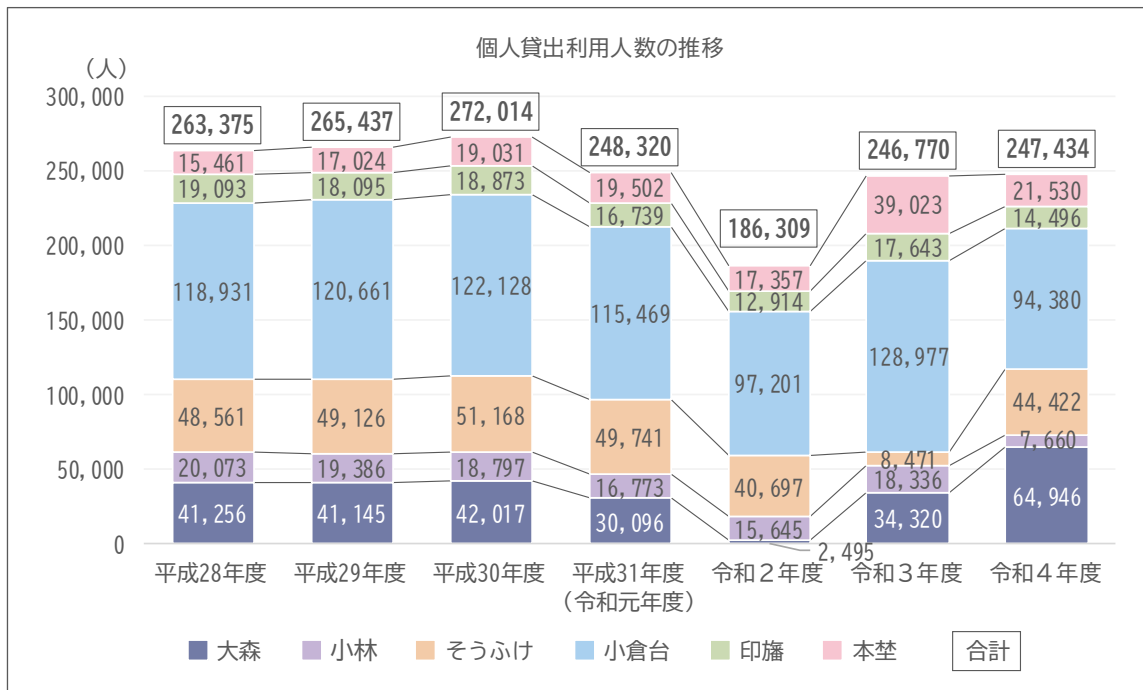
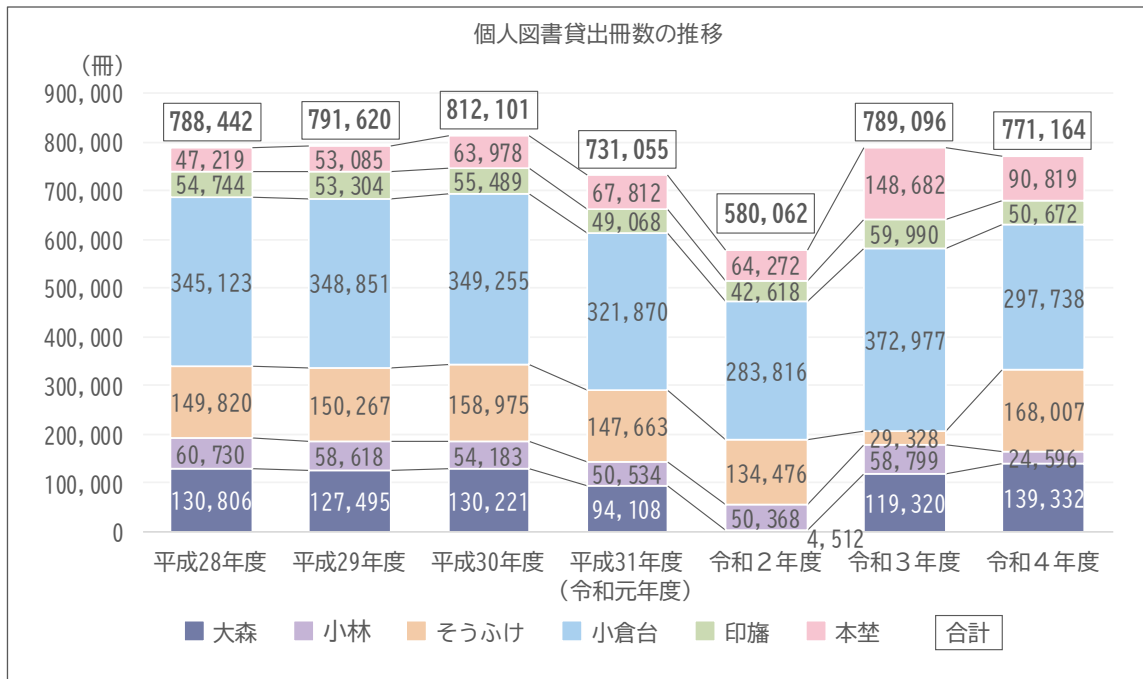


（資料：印西市立図書館年報（各年））

●個人図書貸出冊数・個人図書貸出利用人数の推移

貸出冊数・利用人数共に、全体として、平成30年度までは増加傾向でしたが、平成31年度（令和元年度）・令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響により減少しました。

貸出冊数・利用人数共に、小倉台が最も多く、令和3年度は過去6年間で最も多くなりました。休館の影響を除くと、少ないのは小林、印旛、本埜ですが、本埜については、近隣のそうふけ図書館改修工事による休館のため令和3年度は平年よりも大幅に増加しています。



（資料：印西市立図書館年報（各年））

※全館：令和2年2月末から令和2年5月末まで利用休止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）

※大森：令和2年1月から令和3年4月末まで休館（大規模改修工事のため）

※そうふけ：令和3年5月から令和4年2月末まで休館（大規模改修工事のため）

※小林：令和4年10月から令和5年9月末まで休館（保全改修工事のため）

●蔵書数に対する貸出数の割合（令和4年度）

図書資料について、各図書館でのジャンルごとの蔵書数に対する貸出数の割合を算出しました。割合が150%以上のジャンルは下表のとおりとなりました。

特に300%以上となったのは、一般資料についてはそうふけでの大活字とコミック、小倉台での小説とコミックでした。児童資料については小林での大型絵本、そうふけでの洋書、絵本、大型絵本、紙芝居、小倉台での小説、絵本、紙芝居、本埜での哲学、技術、小説、洋書、絵本でした。

表 蔵書数に対する貸出数の割合からみる、人気図書のジャンル

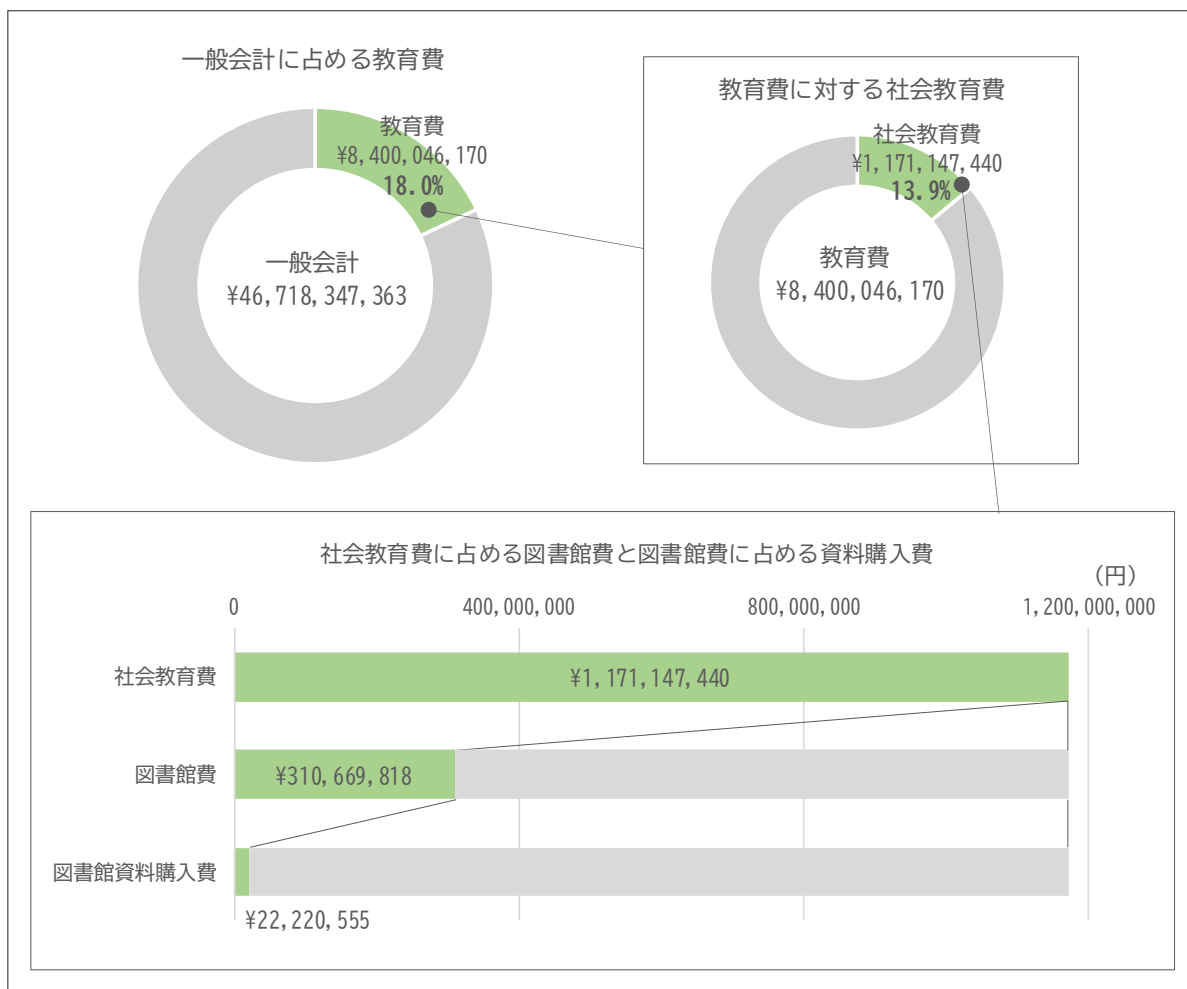
| 館名 | 割合が150%以上の図書資料（太字は300%以上） |
|------|--|
| 大森 | 一般資料：小説、コミック |
| | 児童資料：絵本、大型絵本、紙芝居 |
| 小林 | 一般資料：- |
| | 児童資料：哲学、絵本、大型絵本 |
| そうふけ | 一般資料：哲学、技術、産業、大活字、小説、コミック |
| | 児童資料：総記、 哲学 、歴史、社会、自然、技術、産業、芸術、小説、 洋書 、 絵本 、 大型絵本 、紙芝居 |
| 小倉台 | 一般資料：哲学、技術、小説、コミック |
| | 児童資料：哲学、歴史、自然、技術、産業、 小説 、コミック、 絵本 、 大型絵本 、紙芝居 |
| 印旛 | 一般資料：洋書、コミック |
| | 児童資料：哲学、歴史、洋書、絵本、大型絵本 |
| 本埜 | 一般資料：哲学、技術、小説、コミック |
| | 児童資料：総記、 哲学 、歴史、自然、 技術 、芸術、言語、 小説 、 洋書 、 絵本 、大型絵本、紙芝居 |
| 6館全体 | 一般資料：小説、コミック |
| | 児童資料：哲学、歴史、自然、技術、小説、洋書、コミック、 絵本 、 大型絵本 、紙芝居 |

（資料：「印西市立図書館年報 令和5年度—令和4年度統計—」より作成）

●市の財政に占める図書館費 令和4年度決算額

市の令和4年度決算額では、一般会計に占める教育費の割合は 18.0%でした。さらに、教育費に占める社会教育費の割合は 13.9%でした。

社会教育費に占める図書館費、図書館費に占める図書館資料購入費は下図のとおりです。一般会計に占める資料購入費の割合は1%以下となっています。



(資料：印西市立図書館年報 令和5年度—令和4年度統計—)

●各市立図書館の概要

| | | | | | |
|---|--|---|--|-------------------------|-------------------------|
| 1 | 大森図書館 | | 所在地 | | |
| | | | 印西市大森2535 | | |
| 開館時間 | 9:00～17:00 水曜日 9:00～19:00 | | | | |
| 休館日 | 月曜日(祝休日の時はその直後の平日) | | | | |
| | 年末年始 12月28日～1月4日 特別整理日・臨時休館日 | | | | |
| 構造 | 鉄筋鉄骨コンクリート造 一部鉄骨造 地上4階 | | 開館 | 平成6年10月1日 | |
| 敷地面積 | 4,950.88 m ² | 駐車場用地 | 1,850.11 m ² | 建築面積 | 3,142.07 m ² |
| 延床面積 | 5,317.82 m ² | 延床面積の内、図書館占有面積 | | 1,149.21 m ² | |
| 管轄エリア | 木下、木下南、竹袋、別所、宗甫、木下東、平岡、大森、鹿黒、鹿黒南、亀成、発作、相嶋 浅間前、浦部、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉 | | | | |
| 管轄エリアの人口 | 13,285 人 | 年少人口(0～14歳) | 1,242 人 | | |
| 人口増減(対H30年) | -122 人 | 生産年齢人口(15～64歳) | 7,570 人 | | |
| 人口増減率 | -0.91 % | 老年人口(65歳以上) | 4,473 人 | | |
| <p>■管轄エリアの人口増減</p> <p>H30年エリア人口 13,407 R5年エリア人口 13,285</p> <p>管轄エリアの人口はやや減少傾向</p> | | <p>■管轄エリアの人口年齢3区分割合</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口</p> <p>老年人口の比率が高い</p> | | | |
| <p>【管轄エリア図】</p> | | | <p>●印西市立図書館本館</p> <p>大森図書館は市内にある6館の本館であり、市役所と隣接していることから、一般書、専門書、参考書、児童書など様々な分野を広く所蔵している。</p> <p>特に郷土資料や行政資料等については重点的に収集・保存することを大きな役割としている。</p> <p>その他マイクロフィルムや複製絵画を所蔵している。</p> | | |
| <p>【案内図】</p> | | | <p>最寄り駅 JR成田線木下駅下車 徒歩15分</p> | | |

| 所蔵資料 | 図書資料 | 雑誌 | 視聴覚資料 | 複製絵画 | マイクロフィルム |
|-------------|------------|---------|----------------|-----------|----------|
| 令和5年3月31日時点 | 176,609 冊 | 5,939 冊 | 5,879 点 | 96 点 | 3,388 点 |
| エリア別個人登録者数 | 2,258 人 | | 個人図書貸出冊数(図書資料) | 139,332 冊 | |
| | 個人貸出利用者数 | | 64,946 人 | | |
| | レファレンス利用件数 | | 窓口 | 3,455 件 | |
| | | | 電話 | 132 件 | |
| | | | 合計 | 3,587 件 | |

大森図書館からのメッセージ

★大人のためのブックリスト★

大人の方を対象としたおすすめ本のブックリストを作成し配布しています。



▼視聴覚資料も閲覧できます。



★おはなし室内の子育て支援コーナー★

市内各子育て支援センターの案内や子育て関連本を置いています。



▼マイクロフィルムリーダー



▼複製絵画



★ほんのおみくじ★

おみくじに書かれた図書館おすすめの本を貸出します。



| | | | | |
|---|------------------------------|--|-------------|-------------------------|
| 2 | 小林図書館 | | 所在地 | |
| | | | 印西市小林北5-1-6 | |
| 開館時間 | 9:00～17:00 | | | |
| 休館日 | 月曜日(祝日の時は火曜日も休館) 国民の祝日及び休日 | | | |
| | 年末年始 12月28日～1月4日 特別整理日・臨時休館日 | | | |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 屋根木造 | | 開館 | 平成7年6月1日 |
| 敷地面積 | 3,146.71 m ² | | 建築面積 | 1,183.63 m ² |
| 延床面積 | 2,073.68 m ² | 延床面積の内、図書館占有面積 | | 247.29 m ² |
| 管轄エリア | 小林、小林官堤、小林北、小林浅間、小林大門下 | | | |
| 管轄エリアの人口 | 7,713 人 | 年少人口(0～14歳) | 923 人 | |
| 人口増減(対H30年) | 159 人 | 生産年齢人口(15～64歳) | 4,205 人 | |
| 人口増減率 | 2.1 % | 老年人口(65歳以上) | 2,585 人 | |
| ■管轄エリアの人口増減 <p>H30年エリア人口 7,554 R5年エリア人口 7,713</p> | | ■管轄エリアの人口年齢3区分割合 <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口</p> | | |
| 管轄エリアの人口はやや増加傾向 | | 老年人口の比率が高い | | |
| 【管轄エリア図】 | | | | |
| ●印西市立図書館分館 <p>既存地域と新興住宅地が混在する自然豊かな地域で、老年人口の比率が高いが、新たな開発が進み人口はやや増加傾向にある。図書館利用者は日常において利用が浸透している60代から70代が多いが、幼稚園や小学校が隣接しており児童や保護者の利用もみられる。そのため、児童書や暮らしに関わる資料の充実に努めている。</p> | | | | |
| 【案内図】 | | | | |
| 最寄り駅 JR成田線小林駅下車 徒歩10分 | | | | |

| 所蔵資料 | 図書資料 | 雑誌 | 視聴覚資料 | 複製絵画 | マイクロフィルム | |
|---|--|-------|----------------|-------|----------|--|
| 令和5年3月31日時点 | 34,209 冊 | 127 冊 | - 点 | - 点 | - 点 | |
| エリア別個人登録者数 | 1,766 人 | | 個人図書貸出冊数(図書資料) | | 24,596 冊 | |
| <p> ■ 大森 ■ 小林 ■ そうふけ ■ 小倉台 ■ 印旛 ■ 本埜 ■ 市外 </p> | 個人貸出利用者数 | | 7,660 人 | | | |
| | レファレンス 利用件数 令和4年10月から保全改 修工事のため休館 | | 窓口 | 737 件 | | |
| | | | 電話 | 41 件 | | |
| | | | 合計 | 778 件 | | |

小林図書館からのメッセージ

★春のスタンプ祭り★

本を借りて、感想を書いてスタンプをもらおう！春のスタンプ祭りでは子どもたちの感想でいっぱい。



保全改修工事を終えて ▶
令和5年10月に再開館
しました。



★一般展示★

幅広い分野からテーマを決めて
展示しています。

★児童展示★

「この本読みたい」と
親子の会話もはずみます。

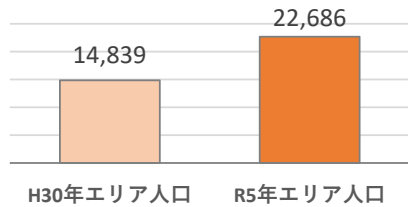


★クリスマス会(児童催し)★

小林親子読書会かたつむり、小林公民館
と共催の楽しいクリスマス会。

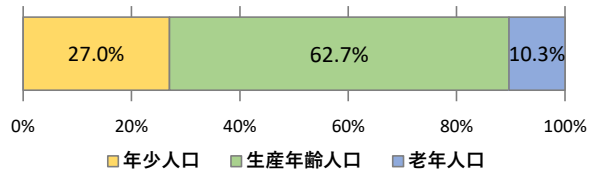
| | | | | |
|-------------|------------------------------|----------------|----------|-------------------------|
| 3 | そうふけ図書館 | | 所在地 | |
| | | | 印西市原3-4 | |
| 開館時間 | 9:00～17:00 | | | |
| 休館日 | 月曜日(祝日の時は火曜日も休館) 国民の祝日及び休日 | | | |
| | 年末年始 12月28日～1月4日 特別整理日・臨時休館日 | | | |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 | | 開館 | 平成11年2月2日 |
| 敷地面積 | 4,000.01 m ² | | 建築面積 | 1,781.13 m ² |
| 延床面積 | 3,674.49 m ² | 延床面積の内、図書館占有面積 | | 500.98 m ² |
| 管轄エリア | 東の原、西の原、牧の原、原 | | | |
| 管轄エリアの人口 | 22,686 人 | 年少人口(0～14歳) | 6,129 人 | |
| 人口増減(対H30年) | 7,847 人 | 生産年齢人口(15～64歳) | 14,214 人 | |
| 人口増減率 | 52.88 % | 老年人口(65歳以上) | 2,343 人 | |

■管轄エリアの人口増減



管轄エリアの人口は増加傾向

■管轄エリアの人口年齢3区分割合



年少人口、生産年齢人口の比率が高い

【管轄エリア図】



●印西市立図書館分館

同施設に児童館があり、小学校や学童クラブに隣接していることから児童の利用が多く見受けられる。

近年は、印西牧の原駅周辺の人口が増加しており、特に子育て世代の利用者が多いため、幼児絵本のほか子育て支援の本のコーナーを設け、子育て世代にも利用しやすい環境づくりに努めている。

【案内図】



最寄り駅

北総線印西牧の原駅下車 徒歩10分

| 所蔵資料 | 図書資料 | 雑誌 | 視聴覚資料 | 複製絵画 | マイクロフィルム |
|-------------|----------------|---------|----------------|---------|-----------|
| 令和5年3月31日時点 | 82,451 冊 | 1,429 冊 | - 点 | - 点 | - 点 |
| エリア別個人登録者数 | 5,852 人 | | 個人図書貸出冊数(図書資料) | | 168,007 冊 |
| | 個人貸出利用者数 | | 44,422 人 | | |
| | レファレンス 利用件数 | | 窓口 | 3,404 件 | |
| | | | 電話 | 119 件 | |
| | | | 合計 | 3,523 件 | |

そうふけ図書館からのメッセージ

★児童図書コーナー★

たくさんの絵本が並んでいます。
おすすめの絵本や児童向けの本を毎月紹介
しています。



外の景色を ▶
見ながらソファで
ゆっくりと閲覧できます。

▼そうふけ図書館と公民館共催で、ボランティア
の方にご協力いただきイベントを実施。



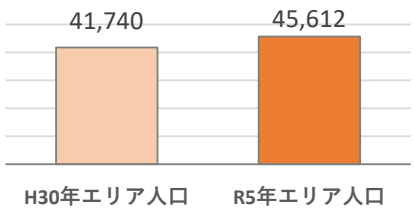
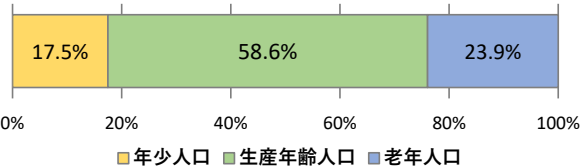


★新刊図書展示コーナー★

そうふけ図書館に新しく入った本
を紹介しています。



▼新年に小学生以下の子どもたちを対象に
おみくじとラッキーブックの貸出を実施。



| | | | | |
|--|--|---|--|-------------------------|
| 4 | 小倉台図書館 | | 所在地 | |
| | | | 印西市小倉台4-5 | |
| 開館時間 | 9:00～17:00 水曜日 9:00～19:00 | | | |
| 休館日 | 月曜日(祝休日の時はその直後の平日) | | | |
| | 年末年始 12月28日～1月4日 特別整理日・臨時休館日 | | | |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 地下1階・地上2階 | | 開館 | 平成12年6月1日 |
| 敷地面積 | 2,646.11 m ² | | 建築面積 | 1,560.34 m ² |
| 延床面積 | 2,700.28 m ² | 延床面積の内、地下駐車場面積 | | 1,078.00 m ² |
| 管轄エリア | 小倉台、大塚、牧の木戸、木刈、武西学園台、戸神台、中央北、中央南、内野、原山、高花 武西、戸神、船尾、松崎、松崎台、結縁寺、多々羅田、草深、泉 | | | |
| 管轄エリアの人口 | 45,612 人 | 年少人口(0～14歳) | 7,989 人 | |
| 人口増減(対H30年) | 3,872 人 | 生産年齢人口(15～64歳) | 26,715 人 | |
| 人口増減率 | 9.28 % | 老年人口(65歳以上) | 10,908 人 | |
| ■管轄エリアの人口増減  <p>H30年エリア人口 41,740 R5年エリア人口 45,612</p> | | ■管轄エリアの人口年齢3区分割合  <p>0% 20% 40% 60% 80% 100% ■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口</p> | | |
| 管轄エリアの人口はやや増加傾向 | | 年少人口の比率が高い | | |
| 【管轄エリア図】  | | | ●印西市立図書館分館 (図書館単独の建物) 市内で最も人口が多い千葉ニュータウン中央地区にあり、ニュータウン創設期に入居された方から新しく入居された世帯の幅広い年齢層が利用する市内で一番利用の多い図書館である。 また、商業施設や企業群が立ち並ぶエリアにあることから、児童書・実用書・レファレンス資料・専門書など様々な分野を幅広く収集するよう努めている。 | |
| 【案内図】  | | | 最寄り駅 北総線千葉ニュータウン中央駅下車 徒歩15分 | |

| 所蔵資料 | 図書資料 | 雑誌 | 視聴覚資料 | 複製絵画 | マイクロフィルム | |
|---|----------------|----------|----------------|-----------|----------|--|
| 令和5年3月31日時点 | 155,915 冊 | 3,105 冊 | 4,484 点 | - 点 | - 点 | |
| エリア別個人登録者数 | 11,795 人 | | 個人図書貸出冊数(図書資料) | 297,738 冊 | | |
| <p> ■ 大森 ■ 小林 ■ そうふけ ■ 小倉台 ■ 印旛 ■ 本埜 ■ 市外 </p> | 個人貸出利用者数 | 94,380 人 | | | | |
| | レファレンス 利用件数 | 窓口 | 7,477 件 | | | |
| | | 電話 | 228 件 | | | |
| | | 合計 | 7,705 件 | | | |

小倉台図書館からのメッセージ

★絵本講座★

地域で長年子どもの読書会の活動をされている方が講師として「絵本の楽しみ方・選び方」の講座を実施。



★閲覧コーナー★

館内ぐるりと座席があり、公園ビューや緑道ビューで落ち着きがあります。



★おはなし室★

丸く階段状の客席で、おはなし会に楽しく参加していただけます。



★消しゴムはんこ講座★

図書館の本を紹介しながら、消しゴムはんこの作り方の講座を実施。



▼本の紹介コーナー



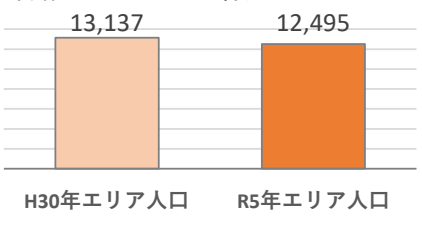
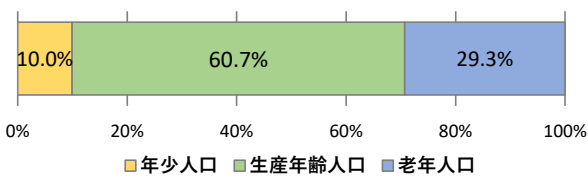


▼雑誌架



★当日返却コーナー★

当日返された本に目を止める方が多く、またすぐ借りられることも多いです。



| | | | | |
|---|---|---|-----------|-------------------------|
| 5 | 印旛図書館 | | 所在地 | |
| | | | 印西市美瀬1-25 | |
| 開館時間 | 9:00～17:00 | | | |
| 休館日 | 月曜日(祝日の時は火曜日も休館) 国民の祝日及び休日 | | | |
| | 年末年始 12月28日～1月4日 特別整理日・臨時休館日 | | | |
| 構造 | 鉄筋鉄骨コンクリート造 一部鉄骨造 地上3階 | | 開館 | 平成16年1月15日 |
| 敷地面積 | 13,590.65 m ² | | 建築面積 | 1,149.11 m ² |
| 延床面積 | 2,985.05 m ² | 延床面積の内、図書館占有面積 | | 376.79 m ² |
| 管轄エリア | 瀬戸、山田、平賀、平賀学園台、吉高、萩原、松虫、岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田 美瀬、舞姫、若萩 | | | |
| 管轄エリアの人口 | 12,495 人 | 年少人口(0～14歳) | 1,244 人 | |
| 人口増減(対H30年) | -642 人 | 生産年齢人口(15～64歳) | 7,589 人 | |
| 人口増減率 | -4.89 % | 老年人口(65歳以上) | 3,662 人 | |
| ■管轄エリアの人口増減  <p>H30年エリア人口 13,137 R5年エリア人口 12,495</p> | | ■管轄エリアの人口年齢3区分割合  <p>10.0% 60.7% 29.3%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口</p> | | |
| 管轄エリアの人口はやや減少傾向 | | 生産年齢人口の比率が高い | | |
| 【管轄エリア図】 | | | | |
|  | | | | |
| 【案内図】 | | | | |
|  | | | | |
| ●印西市立図書館分館 自然豊かな旧印旛地域と人口の多い千葉ニュータウン印旛地区をサービス範囲としている。 近隣に病院があることから、比較的一般的な医学書や健康に関する図書を多く収集している。 また、図書館が支所、児童館、健康づくりセンターがある複合施設内にあり、子育て世代やシニア世代の利用が多いことから、幅広い分野の資料を提供できるような蔵書構成に努めている。 | | | | |
| 最寄り駅 北総線印旛日本医大駅下車 徒歩10分 | | | | |

| 所蔵資料 | 図書資料 | 雑誌 | 視聴覚資料 | 複製絵画 | マイクロフィルム |
|-------------|----------------|---------|----------------|----------|----------|
| 令和5年3月31日時点 | 58,313 冊 | 1,331 冊 | - 点 | - 点 | - 点 |
| エリア別個人登録者数 | 2,257 人 | | 個人図書貸出冊数(図書資料) | 50,672 冊 | |
| | 個人貸出利用者数 | | 14,496 人 | | |
| | レファレンス 利用件数 | | 窓口 | 1,944 件 | |
| | | | 電話 | 87 件 | |
| | | | 合計 | 2,031 件 | |

印旛図書館からのメッセージ

★児童図書コーナー★

ソファや書見台で絵本を見て選べます。



▲外の景色を見ながらゆっくりと閲覧できます。

★新着図書展示★

印旛図書館に新しく入った本を紹介しています。



★展示コーナー★

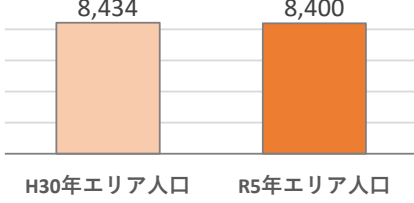
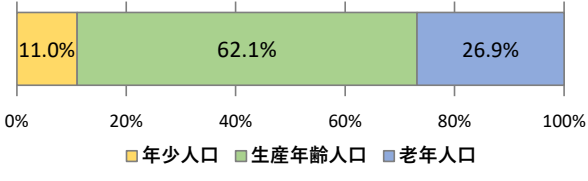


図書館おすすめの本を毎月紹介しています。



★夏のおはなし会★

手あそびや大型紙芝居など夏の特別なおはなし会。



| | | | | |
|---|--|---|----------|-------------------------|
| 6 | 本埜図書館 | | 所在地 | |
| | | | 印西市滝野3-4 | |
| 開館時間 | 9:00～17:00 | | | |
| 休館日 | 月曜日(祝日の時は火曜日も休館) 国民の祝日及び休日 | | | |
| | 年末年始 12月28日～1月4日 特別整理日・臨時休館日 | | | |
| 構造 | 木造地上1階 | | 開館 | 平成15年4月25日 |
| 敷地面積 | 3,200.14 m ² | | 建築面積 | 1,037.53 m ² |
| 延床面積 | 937.93 m ² | 延床面積の内、図書館占有面積 | | 323.80 m ² |
| 管轄エリア | 中根、荒野、角田、竜腹寺、滝、物木、笠神、行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、甚兵衛、松木、中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林、滝野 | | | |
| 管轄エリアの人口 | 8,400 人 | 年少人口(0～14歳) | 926 人 | |
| 人口増減(対H30年) | -34 人 | 生産年齢人口(15～64歳) | 5,217 人 | |
| 人口増減率 | -0.4 % | 老年人口(65歳以上) | 2,257 人 | |
| ■管轄エリアの人口増減  <p>H30年エリア人口 8,434 R5年エリア人口 8,400</p> | | ■管轄エリアの人口年齢3区分割合  <p>11.0% 62.1% 26.9%</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口</p> | | |
| 管轄エリアの人口はやや減少傾向 | | 生産年齢人口の比率が高い | | |
| 【管轄エリア図】 | | | | |
|  | | | | |
| 【案内図】 | | | | |
|  | | | | |
| ●印西市立図書館分館 緑豊かな既存地域と千葉ニュータウン地域が混在し、子育て世代の人口が増えている地域であることや、同施設には子育て支援センターがあり、近隣には小中学校もあることから児童や家族での利用が多い。 既存地区の定住者の利用もあることを踏まえて、児童書や暮らしに密着した資料などを多く収集・所蔵している。 | | | | |
| 最寄り駅 北総線印西牧の原駅下車 徒歩15分 | | | | |

| 所蔵資料 | 図書資料 | 雑誌 | 視聴覚資料 | 複製絵画 | マイクロフィルム | |
|-------------|----------|-------|----------------|------|----------|---------|
| 令和5年3月31日時点 | 40,996 冊 | 655 冊 | - 点 | - 点 | - 点 | |
| エリア別個人登録者数 | 1,726 人 | | 個人図書貸出冊数(図書資料) | | 90,819 冊 | |
| | | | 個人貸出利用者数 | | 21,530 人 | |
| | | | レファレンス 利用件数 | | 窓口 | 1,185 件 |
| | | | | | 電話 | 64 件 |
| | | | | | 合計 | 1,249 件 |

本埜図書館からのメッセージ

★おうちでおはなしかい★

おうちでも「おはなしかい」ができるように、職員が選んだ紙芝居と絵本をセットでご用意しております。



★大型紙芝居★

紙芝居のサイズを大きくして見やすくした大型紙芝居を提供しております。



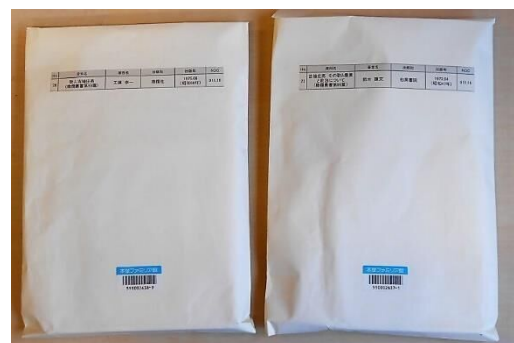
★吉植庄亮氏著作コレクション★

印西市（旧本埜村）ゆかりの歌人、吉植庄亮氏の著作を収集し、提供しております。



★絵本講座★

同じ建物にある「滝野子育て支援センター」で乳幼児と保護者の方を対象に「絵本講座」を行っております。



3 図書館サービスに関する市民意識調査結果

計画策定に先立ち、図書館サービスに対する市民の意見を計画に反映させることを目的にアンケート調査を実施しました。

| |
|---|
| 調 査 対 象 者：市内在住の 18 歳以上の市民 2,000 人 |
| 調 査 方 法：郵送配布のうえ、郵送回答またはWEBサイトでの回答 |
| 実 施 期 間：令和5年7月24日（月）～令和5年8月6日（日） ※8月29日（火）到着分まで反映 |
| 回収数（回収率）：536票（内無効票1）（26.8%） …郵送回答422票（内無効票1）、WEB回答114票 |

次ページ以降に、調査結果の概要を示します。

1. 単純集計

◇は全体質問、◆は限定質問を示す。

(1) 回答者自身のことについて

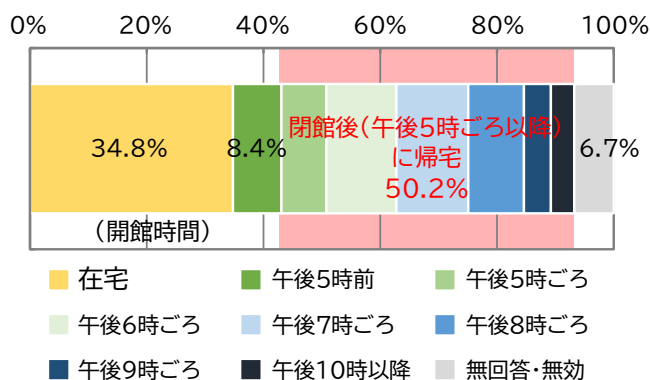
◇性別については女性の方がやや多く、年齢については、60歳台以上と30～50歳台がそれぞれ5割弱を占め、10～20歳台はわずかであった。

◇職業については常勤の勤め人が多く、次いで無職、専業主婦(夫)の順となった。

◇居住地区については、小倉台エリアとそうふけエリアの回答者が多かった。

◇通勤・通学先については、「通勤・通学をしていない」が3割弱で最も多く、「印西市内(自宅を含む)」と合わせると約半数は基本的に市内にすることが窺える。

◇普段の帰宅時間については、「在宅」とあるという回答が最も多かった。それ以外の回答では、現在の閉館時間(大森・小倉台図書館の水曜日を除く)である午後5時以降に帰宅する人(午後5時ごろ以降の回答者)が約半数となった。(右図)



【問6 普段の帰宅時間[SA]】n=535

◇普段の休日については「日曜日」と「土曜日」が回答者の約半数、「祝日」が4割弱となっている。

(2) 図書館について

◇図書館の利用の有無については、7割以上が「利用したことがある」と回答した。

「利用したことがない」と回答した人

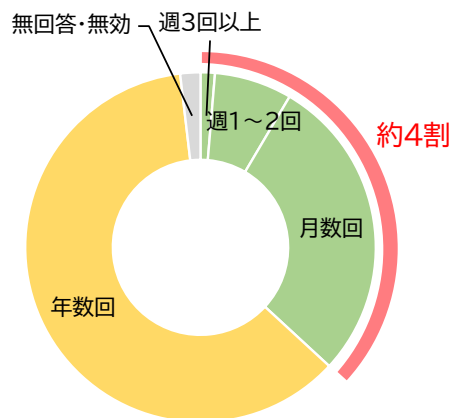
◆利用しない理由については「本をあまり読まない」、「借りたり返したりが面倒」、「本は自分で購入」、「利用する時間がない」など、回答者の読書習慣による理由が多くなっている。

「利用したことがある」と回答した人

◆一番よく使う図書館については「小倉台図書館」が最も多かった。

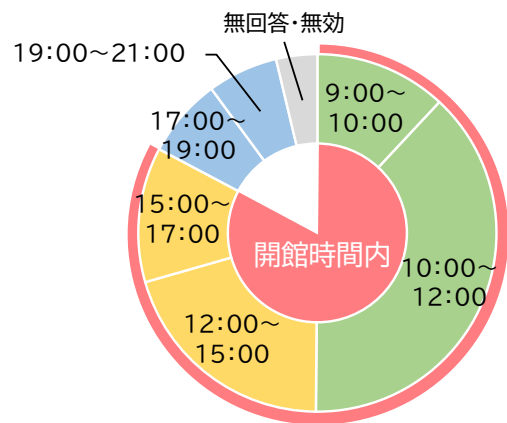
◆利用頻度については「年数回」が6割を超え最も多いが、「月数回」、「週1～2回」、「週3回以上」を合わせると4割弱の回答者が定期的に利用していることが伺えた。(右図)

◆よく利用する曜日については「曜日にかかわらず利用している」が半数以上で最も多く、次いで「日曜日」、「土曜日」、「祝日」の順となった。



【問11 (限定)利用頻度[SA]】n=377

◆利用したい時間帯については「10:00～12:00」が最も多かった。現在の開館時間(大森・小倉台図書館の水曜日を除く)である午前9時～午後5時内の回答が8割以上を占めており、一方それ以降の時間帯は1割強となった。(右図)



【問13 (限定)利用したい時間帯[SA]】n=377

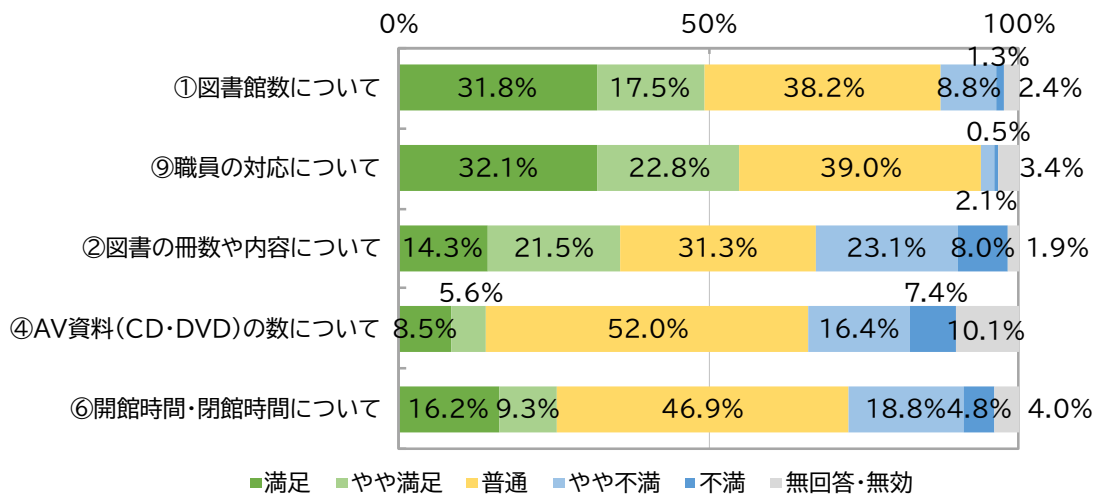
◆1回の利用での滞在時間については「30分～1時間以内」、「30分以内」が多く、1時間以内の滞在時間を回答した人が8割以上であった。

◆利用目的については「図書や雑誌、CD、DVDを借りる・返す」が最も多く、次いで「館内で図書や雑誌を読む」が多い。他、「座席の利用(学習・勉強の場として利用)」、「館内で新聞を読む」も1割弱の回答者が挙げている。「おはなし会に参加する」、「イベントに参加する」といった参加系の回答は2%程度となった。

「おはなし会に参加する」、「イベントに参加する」といった参加系の回答は2%程度となった。

(3)図書館サービスについて

◆図書館を「利用したことがある」と回答した人の図書館利用の満足度については、「図書館数について」、「職員の対応について」が比較的高い※。一方、「図書の冊数や内容について」、「AV資料(CD・DVD)の数について」、「開館時間・閉館時間について」は比較的低い※。(下図)



【問16 (限定)図書館利用の満足度[SA]】n=377

※「満足」「やや満足」の割合の合計が大きいものを「満足度が高い」と、「不満」「やや不満」の割合の合計が大きいものを「満足度が低い」とした。

◇知らない図書館サービスについては「国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの閲覧(大森・小倉台図書館のみ)」、「図書館資料有料配送サービス」、「来館に支障のある方への宅配」、「マイクロフィルムの閲覧(大森図書館のみ)」が多くなっている。

◇今後充実すべき資料については、「趣味」、「実用書」など生活に役立つ資料や、「専門書」、「児童書」が多くなっている。

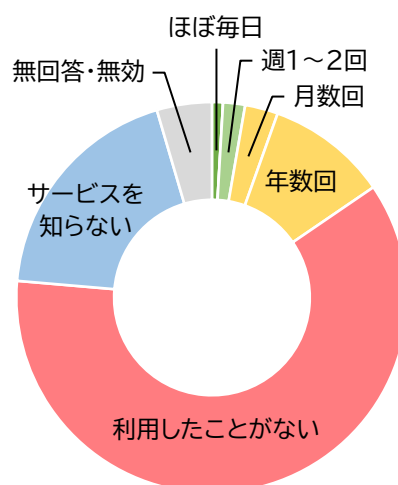
◇今後力を入れてほしい取り組みについては、「所蔵資料の量の充実」、「閲覧席・くつろぎスペースの充実」、「フリーWi-Fiの導入」など、「蔵書数や利用スペースの充実」に関する項目が多くなっている。

(4)電子書籍・電子図書館について

◇電子書籍の利用経験については、8割弱が「利用したことがない」と回答した。

電子書籍の利用経験があると回答した人

- ◆電子書籍利用経験者の読む本のジャンルについては、「漫画」が最も多かった。
- ◆使用する情報端末については「スマートフォン」、「タブレット」が多く挙げられた。「スマートフォン」は8割近くの回答者が選択しており、電子書籍利用経験者の中では、電子書籍が身近に利用できるものであることが窺える。
- ◆電子図書館の利用頻度については「利用したことがない」が6割以上であった。「サービスを知らない」は約2割であり、電子図書館を利用したことがある回答は2割以下であった。上述のとおり、電子書籍が比較的身近でありながらも、電子図書館の存在を知ったうえで利用していない層が多くみられる。（下図）



【問24（限定）電子図書館の利用頻度[SA]】n=110

- ◆電子図書館で充実してほしい分野については、「趣味・実用書」が最も人気で、他にも「雑誌(週刊誌、ファッション誌など)」、「文芸書」が多くなっている。

2. クロス集計(図書館エリア別の回答の特徴について)

回答をクロス集計し、図書館エリアごとにみられた特徴を抜粋した。

なお、回答者の属性のうち、問4(お住まいの地区)で回答された地区名を、下表とおり各図書館エリアに分けた。

表:各図書館エリアの地区構成

| 図書館エリア | 問4回答地区名 |
|--------|---|
| 大森 | 木下地区 (木下、木下南、竹袋、別所、宗甫、木下東、平岡) |
| | 大森地区 (大森、鹿黒、鹿黒南、亀成、発作、相嶋、浅間前) |
| | 永治地区 (浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉) |
| 小林 | 小林地区 (小林、小林北、小林浅間、小林大門下) |
| そうふけ | 牧の原地区 (西の原、原、東の原、牧の原、牧の台) |
| 小倉台 | 船穂地区 (武西、戸神、船尾、松崎、松崎台、結縁寺、多々羅田) |
| | 草深地区 (草深、泉、泉野) |
| | 中央駅北地区 (小倉台、大塚、牧の木戸、木刈、中央北) |
| | 中央駅南地区 (内野、原山、高花、戸神台、中央南、武西学園台) |
| 印旛 | 印旛地区 (瀬戸、山田、吉高、萩原、松虫、岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田、つくりや台、平賀、平賀学園台) |
| | 印旛 NT 地区 (美瀬、若萩、舞姫) |
| 本埜 | 本埜地区 (中根、荒野、竜腹寺、角田、滝、物木、みどり台、惣深新田飛地、笠神、行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、甚兵衛、松木、中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林、立埜原) |
| | 滝野地区 (滝野) |

■問8 図書館を利用したことがあるか[SA]

n=535

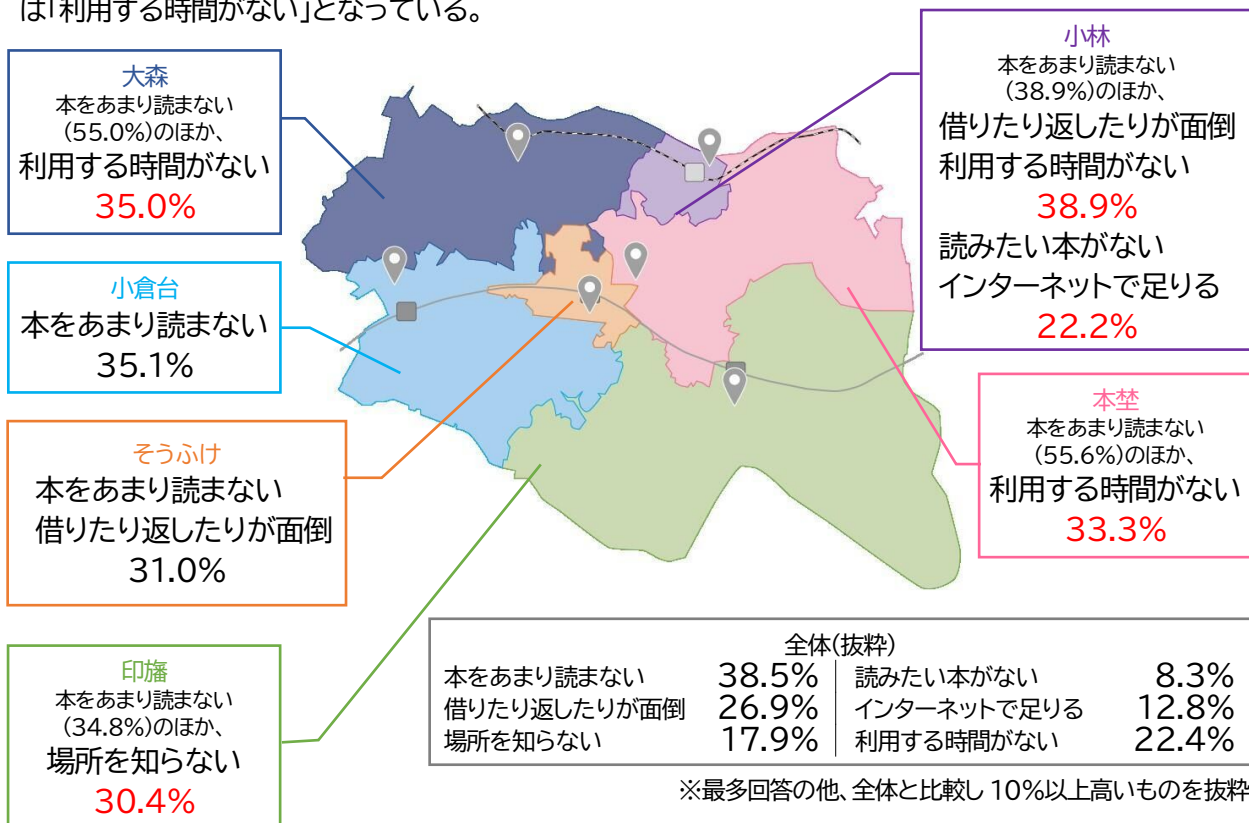
全体としては「利用したことがある」が7割を超えている。特に小倉台が最も多く、印旛が最も少なくなっている。



■問9 (限定)図書館を利用しない理由[MA]

n=156

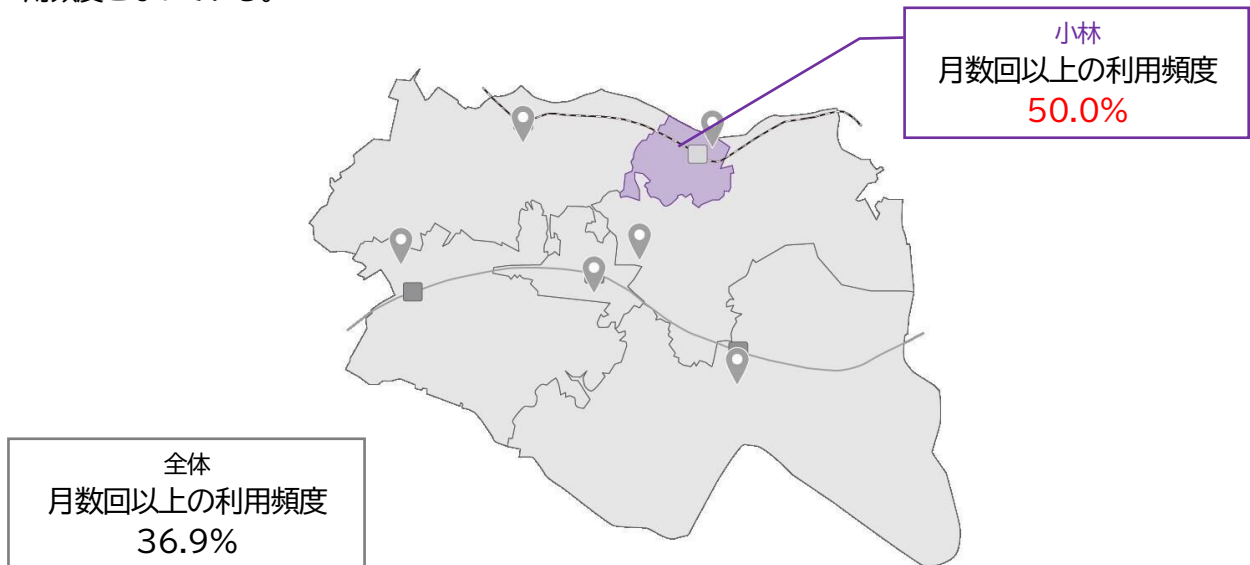
全体としては「本をあまり読まない」が4割弱で最多となった。他の回答で多かったものは、大森では「利用する時間がない」、小林では「借りたり返したりが面倒」、「利用する時間がない」、「読みたい本がない」、「インターネットで足りる」、そうふけでは「借りたり返したりが面倒」、印旛では「場所を知らない」、本埜では「利用する時間がない」となっている。



■問 11 (限定)利用頻度[SA]

n=377

全体としては4割弱が月数回以上の利用頻度となっている。特に小林は多く、約半数が月数回以上の利用頻度となっている。

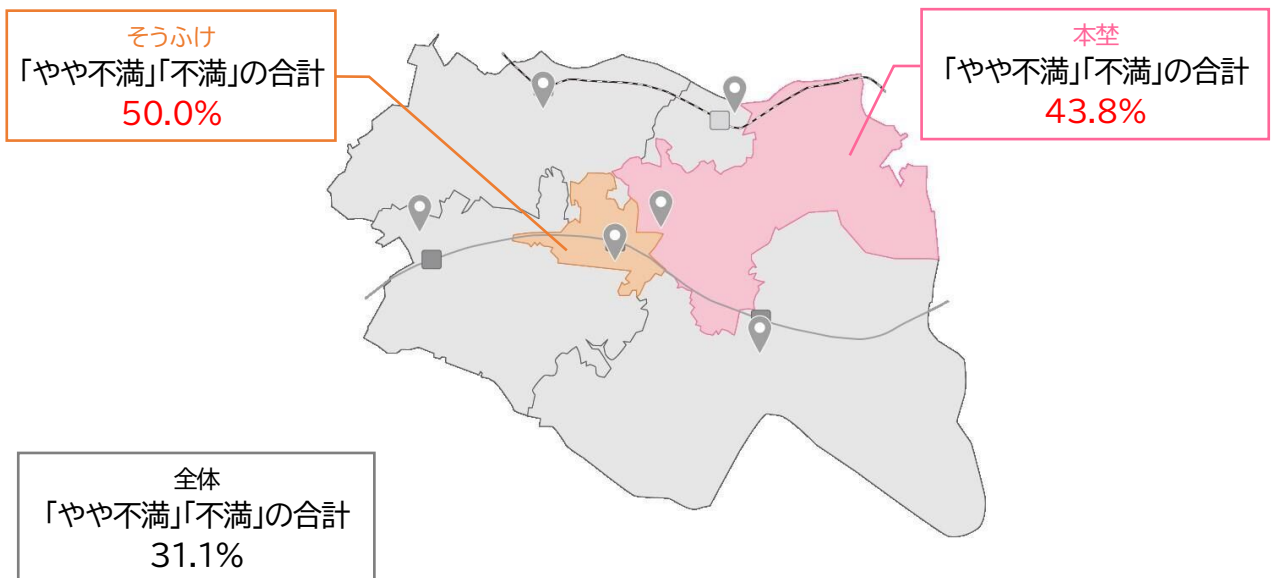


※数値は「ほぼ毎日」、「週3回以上」、「週1～2回」、「月数回」の各回答率を合計したものである。

■問 16-2 (限定)図書館利用の満足度[SA] ②図書の冊数や内容について

n=377

全体としては約3割が「やや不満」、「不満」となっている。特にそうふけと本埜が多く、どちらも4割超が「やや不満」、「不満」となっている。

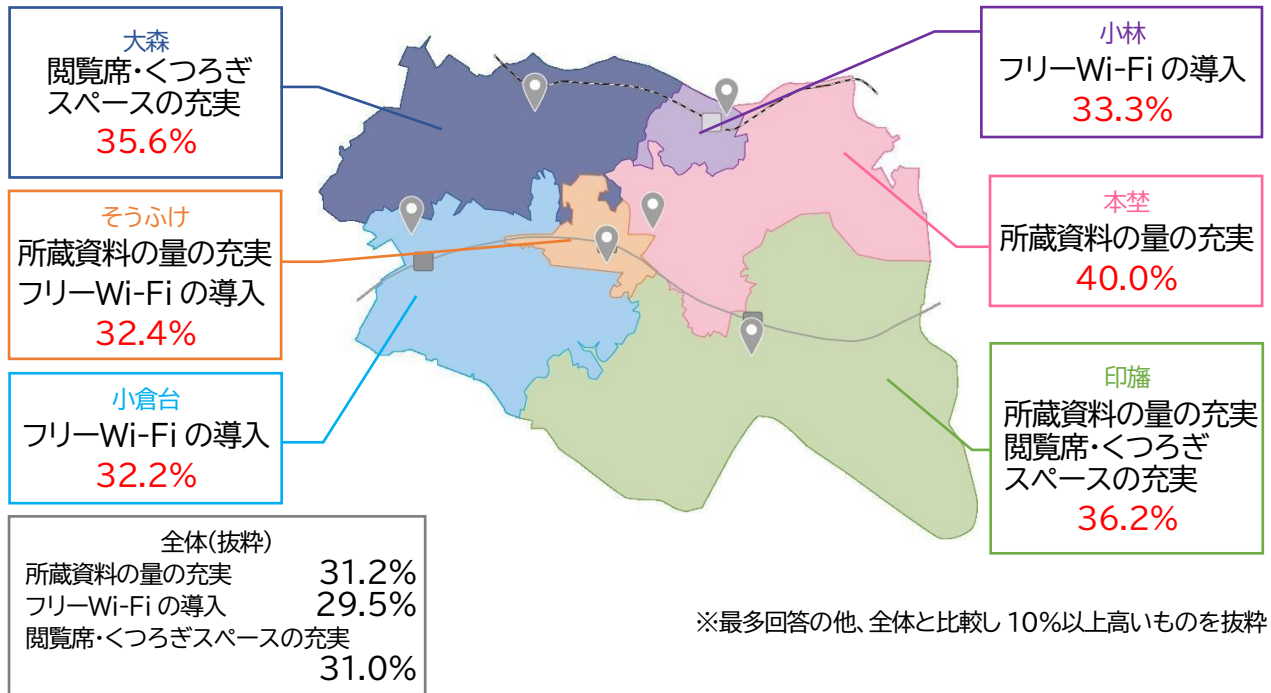


※数値は「やや不満」、「不満」の各回答率を合計したものである。

■問 19 今後力を入れてほしい取組[MA]

n=535

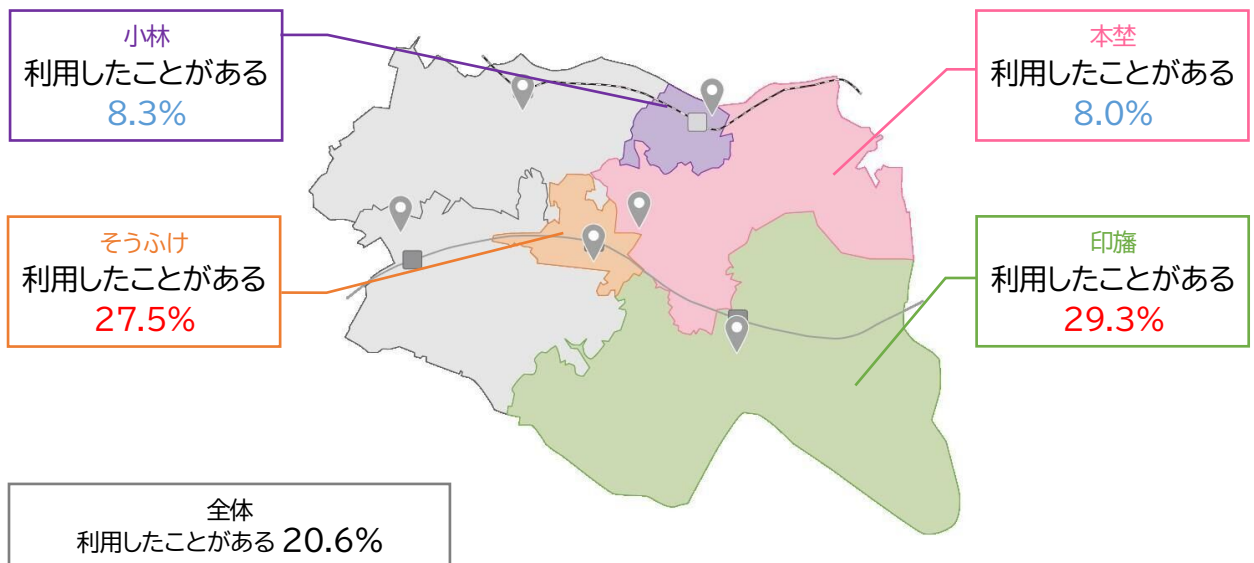
全体としては「所蔵資料の量の充実」が約3割で最多となっている。他の回答で多かったものは、大森では「閲覧席・くつろぎスペースの充実」、小林・そうふけ・小倉台では「フリーWi-Fi の導入」、印旛では「閲覧席・くつろぎスペースの充実」となっている。



■問 21 電子書籍の利用経験[SA]

n=535

全体としては「利用したことがある」は約2割となっている。特にそうふけと印旛が最も多く、約3割となっている。小林と本埜は最も少なく、1割弱となっている。



4 課題の整理

公共図書館の役割

- 地域住民の知る権利・読む自由・学びを豊かにする使命がある。
- 全ての市民に開かれた図書館であること。
- 地域住民の暮らしと仕事、学び、子育て、楽しみなどをリアルに捉えた活動。
- 地域住民と図書館の協働を育て、地域づくりに貢献する。
- 地域に関わる人の活動をサポートすること。
- 社会の多様な問題を知り、多様な視点から考えるための資料と場を積極的に提供すること。

印西市の上位関連計画からの市立図書館の課題

- 地域の情報やコミュニティの拠点としての役割がある。
- だれにでも対応できる図書館サービスの充実。
- 施設整備の在り方についての調査・研究。
- 子どもたちの創造力や豊かな心の育成を目指した読書活動の推進。
- 老朽化した図書館の改修推進。

印西市の現状からの市立図書館の課題

- 図書館サービスの充実のためには、人口や年齢構成、居住者層に合わせた図書館資料の充実と管理が求められている。
- 幅広い分野の知識や地域の文化や情報に精通し、利用者の求めに応じ資料を提供できる人材が求められている。
- 年齢構成比はエリアによって違いがあるため、エリアの状況に対応したサービスの提供が求められる。
- 6つの図書館それぞれの特徴を生かしたサービスの検討が必要である。



市立図書館に求められること

- ▶ 印西市に住んでいる人、通勤・通学している人など、印西市に関わる全ての人に開かれた図書館。(DXの推進、デジタルディバイドへの対応)
- ▶ 人口の変化及び年齢構成に対応した図書館サービスの充実。(新たな図書館の検討)
- ▶ 多様なニーズに対応した図書館サービスの提供。(図書館利用が困難な方や多文化)
- ▶ 地域住民の暮らしを豊かにする読書活動の推進。
- ▶ 市民が地域の課題を考え解決するための資料、情報を提供など、地域の情報センターとしての役割を担う。
- ▶ 地域住民が集い交流する機会と場の提供、住民参加の促進。
- ▶ 適切な施設設備の整備。

6つの市立図書館に求められること

大森図書館

特徴：所蔵資料が最も多く、複製絵画やマイクロフィルムも所蔵している。

文化ホールとの複合施設であり、市役所と隣接、様々な人が集まる場所。

老年人口の比率が高いエリア、少子高齢化傾向。

- ▶市立図書館本館として、あらゆるニーズに応えることが必要であり、行政各部署や関係機関との連携したサービスの充実が求められる。

小林図書館

特徴：出張所、公民館との複合施設であり、幅広い年齢層の住民が集まる場所。

老年人口の比率が高いエリア、少子高齢化傾向。

- ▶幼稚園や小学校が隣接し、中学校も近隣にあることから、児童資料の充実、地域住民の憩いの場としての図書館が求められる。

そうふけ図書館

特徴：児童資料の貸出割合が高い。

公民館、児童館、老人福祉センターとの複合施設。

人口が急増しており、年少・生産年齢人口の比率が高いエリア。ファミリー層が多い。

- ▶小学校や学童クラブに隣接していることから、児童資料の充実やファミリー層のニーズに応える図書館サービスが求められる。

小倉台図書館

特徴：所蔵資料が2番目に多く、個人図書貸出冊数・貸出利用人数ともに最も多い。

レファレンス利用件数が最も多い。

図書館単独の建物。

年少人口の比率が高いエリア。

- ▶最も人が多く集まる図書館でエリア外の市民も利用。図書館単独の建物であることを生かしたサービスの充実が求められる。

印旛図書館

特徴：支所、保健・地域福祉・健康づくりの拠点、児童館との複合施設。

地域の拠点施設で様々な年齢層の住民が集まる場所。

人口がやや減少気味で、生産年齢人口の比率が高いエリア。

- ▶地域の人が集う場所としての図書館を目指す。

本埜図書館

特徴：児童資料の貸出割合が高い。

出張所、シルバールーム、子育て支援センターとの複合施設。

人口がやや減少気味で、生産年齢人口の比率が高いエリア。

- ▶ファミリー層のニーズに応えながら、今後の高齢化の進行も考え、高齢者向けのサービスの充実も求められる。

第3章 目指す市立図書館の姿

1 図書館の使命

公立図書館のサービスの基本は市民の求める資料を収集・整理・保存し情報を提供することです。印西市立図書館は、次の使命を担い、図書館サービスを提供していきます。

- あらゆる年代の市民の教育、自主的な学びを支援し、その機会を提供すること
- 市民の知る自由を保障するため、ニーズに応えられるよう様々な資料を収集すること
- 市民が様々な情報を入手し、文学や芸術を鑑賞し、地域文化に触れる場所を提供すること
- すべての市民が図書館サービスを利用できるよう努めること
- 幼い時期から子どもの読書習慣を育成し、想像力・創造性を醸成すること
- 異文化間の交流を助長し、多様な文化が共生できるように努めること

2 基本理念

本計画は5つの基本理念を掲げ、市民が集う印西市立図書館として、計画的に図書館サービスの推進を図ります。

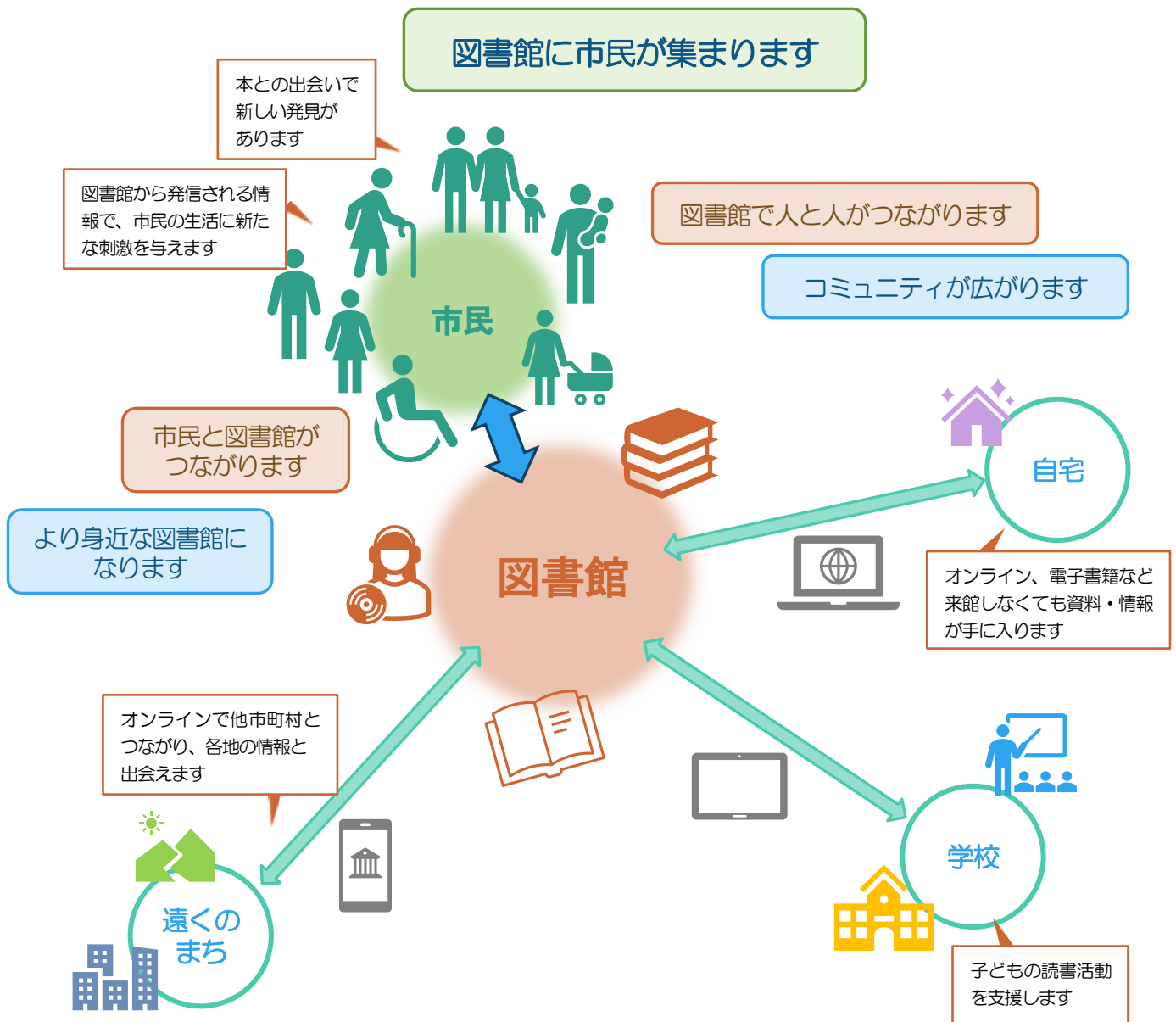
1. 「いつでも、だれでも、どこでも」サービスが行われ、より多くの市民に利用され、愛され、心の豊かさを育む文化の拠点
2. 誰の心にも豊かさをもたらし、子どもたちの未来を育み可能性を広げる図書館
3. 学びとつながる図書館
4. 「住み続けたいまち印西」にふさわしく、住みよさを実感できる図書館
5. 市民の暮らしに生き、市民の生涯学習の拠点となり、地域の課題を解決できる図書館

3 印西市立図書館の目指す姿

市民が気軽に図書館に集い、新しい本に出合ったり、仲間を見つけたり、楽しく過ごせる魅力的な図書館を目指します。

いつでも だれでも どこでも 気軽に利用しやすい憩いの場
つながる図書館

●つながる図書館イメージ●



4 図書館の基本方針

印西市立図書館は、図書館法に則り、市民生活の向上に貢献する様々な情報提供と学習支援を行い、「いつでも だれでも どこでも」気軽に利用しやすい憩いの場として、また、地域に根差した市民文化の創造や、地域の情報拠点として市民生活に役立つ施設となるよう市民の参加と協働を得て、図書館奉仕の充実に努めることを基本方針としています。

この基本方針に従い、印西市立図書館サービス計画においては、以下の4本の柱で構成することとします。

基本方針1 市民の「知りたい」「学びたい」「調べたい」を支える図書館サービス

- 1 基本的な図書館サービス
- 2 「本と出会う」「本と親しむ」機会作り
- 3 多様な利用者に対応した図書館サービス
- 4 デジタル化への対応 ～非来館型サービスの充実

基本方針2 子どもたちの未来を育み可能性を広げる図書館

- 1 子どもの年齢に応じた取組の推進
- 2 子どもの読書活動の推進

基本方針3 市民のくらし、地域の拠点となる図書館

- 1 市民との連携 図書館活動への参加
- 2 関係機関等との連携

基本方針4 住みよさを実感できる図書館

- 1 市民の居場所としての環境の充実
- 2 専門職員の充実と育成

第4章 基本方針の実現に向けた図書館サービス計画

| 基本方針 | 施策 | |
|---|-------------------------|----------------------|
| 基本方針1 市民の「知りたい」「学びたい」「調べたい」を支える図書館サービス | 1 基本的な図書館サービス | (1) 資料収集・蔵書構成 |
| | | (2) 貸出・予約サービス |
| | | (3) レファレンスサービス |
| | 2 「本と出会う」「本と親しむ」機会作り | (1) 資料展示 |
| | | (2) 図書館事業の開催 |
| | | (3) 情報提供及び利用者促進 |
| | | (4) ブックリスト |
| | 3 多様な利用者に対応した図書館サービス | (1) 高齢者を対象とした図書館サービス |
| | | (2) 図書館利用が困難な方へのサービス |
| | | (3) 多文化サービス |
| | 4 デジタル化への対応～非来館型サービスの充実 | (1) 電子図書館の推進 |
| | | (2) ホームページの充実と利用促進 |
| (3) デジタルアーカイブ | | |
| 基本方針2 子どもたちの未来を育み可能性を広げる図書館 | 1 子どもの年齢に応じた取組の推進 | (1) 乳幼児と保護者 |
| | | (2) 児童生徒 |
| | | (3) ヤングアダルト（青少年） |
| | 2 子どもの読書活動の推進 | (1) 読書活動を深める機会の提供 |
| | | (2) 読書環境の整備 |
| | | (3) 情報の普及・啓発 |
| 基本方針3 市民のくらし、地域の拠点となる図書館 | 1 市民との連携 図書館活動への参加 | (1) 図書館ボランティア活動の推進 |
| | (2) 市民団体との連携 | |
| 2 関係機関との連携 | (1) 行政部署や関係機関との連携 | |
| | | |
| 基本方針4 住みよさを実感できる図書館 | 1 市民の居場所としての環境の充実 | (1) 施設設備の維持管理 |
| | | (2) 快適な環境の提供 |
| | 2 専門職員の充実と育成 | (1) 継続的な司書の確保及び職員配置 |
| | | (2) 職員の資質・能力の向上 |

基本方針1 市民の「知りたい」「学びたい」「調べたい」を支える 図書館サービス

1 基本的な図書館サービス

市民の「知りたい」「学びたい」「調べたい」といった要求に対して、図書館サービスの根幹となる利用環境の整備を推進します。

(1) 資料収集・蔵書構成

●現状と課題

○市民の読書・調査研究活動に必要な資料を毎年度収集整備しています。

▶図書資料購入冊数が年々減少しています。増加する人口に対して資料購入が少ないことから市民の多様な資料要求に応えられていないことが課題です。

○各図書館の地域の特性や利用状況に合わせた資料収集方針を年度ごとに作成し、各館の蔵書を整備しています。

▶蔵書の構成について、その地域の居住者層や利用状況を考慮した選書を行う必要があります。

▶各図書館の地域の特性や利用状況に合わせたレファレンスサービスの充実が必要です。また、課題解決サービス（健康・医療情報、ビジネス支援、法情報）への取組に力を入れていく必要があります。

○印西市及び周辺地域に関する資料や行政資料などを収集しています。関係機関との連携を強化し、資料の収集や情報交換に努めています。

令和4年度は関係機関からの購入や寄贈により658冊を収集しました。

▶積極的に資料を収集し適切に整理保存するとともに、利用者に向けて情報を提供できる方法を検討する必要があります。

資料の保存については時代や利用者ニーズに合わせデジタル化も推進していきます。

●主な取組

| | |
|--|--|
| <p>主な取組名称 読書・調査研究活動に必要な資料の収集</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の読書、調査研究活動を支援するため「資料収集要領」「資料選定基準」に基づき必要な資料を収集します。 ・幅広い情報を収集し、蔵書構成の充実を図ります。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い分野の情報提供ができるよう、買い替えなども含め適切な資料収集を推進し、図書館資料の充実に努めます。 | |

| | |
|--|--|
| <p>主な取組名称 6館それぞれの利用状況に合わせた蔵書構成</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各図書館の地域の特性や利用状況に合わせた資料収集方針を年度ごとに作成して蔵書を構成します。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各図書館の地域の特性や利用状況に合わせた蔵書構成の充実を図ります。 ・各図書館の地域の特性や利用状況に合わせたレファレンスサービスの充実を図ります ・課題解決サービス（健康・医療事情、ビジネス支援、法情報）の充実を図ります。 | |

| | |
|---|--|
| <p>主な取組名称 地域資料の収集</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印西市を中心とした隣接地域及び千葉県内を範囲として収集を行います。 ・印西市に関するものは、郷土資料・行政資料とも積極的に収集します。 ・印西市域以外については、概説的なものや特徴的なものを中心に収集します。 ・必要に応じてデジタル化を検討します。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に印西市を中心とした地域資料を収集・保存し、提供します。 ・講座やホームページ等で情報提供することで市民の活動の発展につなげます。 ・必要に応じて資料のデジタル化を推進します。 | |

(2) 貸出・予約サービス

●現状と課題

○令和4年度の個人貸出点数は814,954点となっています。

▶利用者の高齢化、インターネットの普及等の社会の変化に伴い、貸出点数が減少しています。利用が少ない世代に対して、利用を促進するための手法を検討する必要があります。

利用者の利便性の向上と運営の効率化を図るため、ICタグ等を活用した自動貸出・返却機等の導入の検討が必要です。

○他館にある資料の取り寄せや貸出中の資料の予約を行っています。市内在住・在勤・在学の方はパスワードを登録することで図書館ホームページからの予約も受け付けています。令和4年度予約受付点数は142,449件で、その内ウェブ予約は126,086件と予約全体の88.5%を占めています。

▶図書館ホームページでのパスワードの申請や、未所蔵予約資料のリクエスト受付方法について検討が必要です。

●主な取組

| | |
|---|---|
| 主な取組名称 資料の貸出しの利便性の向上 | 取組の内容 ・各世代の利用者の学習、調査研究等に役立つ資料を提供します。 |
| 今後取り組むこと ・利用が少ない世代に対して利用を促進するための手法を検討します。 ・利用者の利便性の向上と運営の効率化を図るため、ICタグを活用した自動貸出・返却機等の導入を検討します。 | |
| 主な取組名称 予約サービスの向上 | 取組の内容 ・図書館窓口や電話での受付、ホームページでパスワードを使用した所蔵資料の予約を実施します。 |
| 今後取り組むこと ・非来館でのパスワード発行及びウェブでの未所蔵資料のリクエスト受付方法を検討し、実施を目指します。 | |

(3) レファレンスサービス

●現状と課題

○各図書館の貸出カウンターや案内カウンター及び電話でレファレンスを受け付けています。令和4年度のレファレンス受付件数は18,873件です。

▶市民意識調査結果から図書館でレファレンスサービスを行っていることを知らない方がいます。レファレンスサービスの利用を促進するため、広報活動の強化を図る必要があります。現状では、レファレンスサービスはカウンター及び電話の受付のみとなっています。

○利用者の知りたいという要望で回答が難しい内容については、必要に応じて県立図書館等への依頼・紹介を行うなど可能な範囲での対応を図っています。

▶利用者の「知りたい」「調べたい」「学びたい」等様々な調査研究のサポートに対応するためには、職員が資料について十分な知識を持ち、適切な資料や情報の提供を行う必要があります。

○これまでのレファレンス事例の一部を図書館ホームページの「レファレンス事例集」ページに掲載しています。令和4年度時点でレファレンス事例記録件数は21件です。

▶レファレンス事例の公開の更新が課題となっています。

○パスファインダーについては、現在作成方法を検討中です。

▶様々なテーマ設定によるパスファインダーの作成が必要です。



レファレンスサービスとは、図書館が行なう利用者サービスの一つで、必要とする文献や参考図書についての問い合わせに応じたり、検索に協力したりするものです。図書館利用者に対する利用案内（指導）と情報あるいは資料の提供との二つに大別されます。



パスファインダーとは、あるテーマや話題について資料や情報を探したいときの参考に、手始めとなる基本資料の一部や、調べ方を紹介した手引きです。適切なキーワードを選択し、資料の特長を理解しておくことで、調べものがより効率的に進められます。

●主な取組

| | |
|--|--|
| <p>主な取組名称 レファレンスサービスの利用促進</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用を促進するためレファレンスサービスの広報を実施します。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービスについて広報紙やホームページへ掲載し市民への周知を図ります。 ・インターネットを活用したレファレンス受付を行い利便性の向上を図ります。 | |
| <p>主な取組名称 レファレンスサービスの質の向上</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修等により職員のスキルアップを図ります。 ・図書館で回答が難しい質問は県立図書館等への依頼・紹介で対応を図ります。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の知りたいという要望に応えられるよう研修への参加や自己研鑽を促進し、職員間の情報共有を図ります。 | |
| <p>主な取組名称 レファレンス事例集の公開</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス事例集を公開します。 ・パスファインダーの作成の検討を行います。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス事例の公開を更新していきます。 ・パスファインダーを作成します。 | |

2 「本と出会う」「本と親しむ」機会作り

季節や時事に合わせた資料の展示やあらゆる世代に対応した企画事業の開催、市民が「本と出会う」「本と親しむ」「人が集う」機会を提供します。

(1) 資料展示

●現状と課題

○各図書館で定期的に季節や時事等に合わせた資料展示を実施しています。秋の読書週間、子どもの読書週間、環境月間など大型展示を行う際には、展示資料の一覧をホームページで公開しています。

▶資料の展示のみで、展示資料のリスト作成がされていないことが課題となっています。

行政各部署や関係機関と連携した資料展示が課題となっています。

●主な取組

| 主な取組名称 | 取組の内容 |
|----------|--|
| 資料展示の実施 | ・図書館の利用を促進するため資料展示を実施します。 |
| 今後取り組むこと | ・展示資料の一覧の作成及びホームページでの公開を実施します。 ・展示内容の充実の他、市の機関や他の団体と連携した展示を継続実施します。 |

(2) 図書館事業の開催

●現状と課題

- 各図書館で、子どもを対象とした科学あそび、図書館探検隊、スタンプラリー、クリスマス会等の事業を実施しています。
- 成人を対象とした事業について、大人向けブックリストの作成やブックコート講座等を実施しています。
 - ▶市民や利用者のニーズの変化は速く、求められている事業展開を進めるためには、事業を整理し新たな事業の取り組みが必要です。
 - ▶講座等の事業を行うための会場の確保が必要です。

●主な取組

| | |
|---|--|
| 主な取組名称 講座・企画事業の実施 | 取組の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの図書館への興味や読書推進につながるような事業や講座を実施します。 ・一般成人の図書館への興味や読書推進につながるような事業や講座を実施します。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップやボランティアとの協働など市民や利用者のニーズを把握した新しい事業の実施を推進します。 ・行政各部署や関係機関と連携し共催事業を行います。 ・郷土資料や地域資料について、講座やホームページで情報提供することで市民の活動の発展につなげます。 | |

| | |
|---|---|
| 主な取組名称 本と出会う・本と親しむ機会の提供 | 取組の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・小倉台図書館では、職員と利用者からのおすすめ本を紹介する「図書紹介コーナー」を設置しています。 ・大森図書館では「大人のためのブックリスト」を年1回発行しています。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none"> ・利用者参加の本の紹介コーナーの拡大・充実を図ります。 ・紹介した資料をホームページなどにも掲載するなど利用促進を図ります。 | |

(3) 情報提供及び利用者促進

●現状と課題

○図書館ホームページは、スマートフォンやパソコンからアクセスできるようになっています。令和4年度は987,909件のアクセスがありました。

▶利用者が使いやすいよう、ホームページの内容を充実させていく必要があります。

○図書館では広報活動として、ホームページや広報いんざい、「としょかんつうしん」を年6回発行し、図書館の利用案内を行っています。

▶印刷物以外の媒体による公開の検討を進める必要があります。

市民に分かりやすく役立つ情報の提供に取り組んでいますが、図書館の役割が理解され、より多くの市民の期待に応えられるよう情報発信に工夫が必要です。

●主な取組

| | |
|---|---|
| 主な取組名称 図書館ホームページの充実 | 取組の内容 <ul style="list-style-type: none">・図書館ホームページの内容の充実を図ります。・検索機能向上及び表示項目等最新情報の掲載に努めます。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none">・図書館に対する関心を高め、利用者の拡大を図る取り組みとして、SNSを活用した情報発信、資料案内等を行います。 | |

| | |
|--|--|
| 主な取組名称 刊行物の発行・送信 | 取組の内容 <ul style="list-style-type: none">・利用案内を発行します。・転入者への利用案内を配付します。・図書館で行っている事業などの情報を掲載した「としょかんつうしん」を発行します。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none">・印刷物以外の媒体による公開の検討を行い、SNS等の活用を含めた刊行物の発行を図ります。・刊行物を継続して発行できるよう職員のスキルアップを図ります。 | |

(4) ブックリスト

●現状と課題

○新刊絵本を紹介するブックリスト「えほんのくに」を年3回作成・発行しています。

▶より内容の充実したブックリストの作成が必要です。

○小中学生向けブックリストを年1回作成し、各学校や各図書館での配布を行っています。

▶内容をより充実させるために、学年や季節の行事などに対応したブックリストの作成が必要です。

○大森図書館の事業の一環として年1回大人のためのブックリストを発行しています。

●主な取組

| 主な取組名称 | 取組の内容 |
|-----------|---|
| ブックリストの作成 | <ul style="list-style-type: none">・「えほんのくに」などのブックリストを作成します。・小学生向けに「ほんのタネ」、中学生向けに「Book de Go!」のブックリストを作成・配布します。 |
| 今後取り組むこと | <ul style="list-style-type: none">・子どもが新しい本に出会えるようブックリストの内容の充実を図ります。・より多くの本に触れる機会を作るため、発行回数の増加に努めます。・将来の図書館DXの推進に合わせたブックリストのビジュアル化を検討します。 |



ブックリストとは、ある基準で選択され、本を薦めたり、紹介するために作られた目録のことです。印西市の図書館では、さまざまな年代の子どもたちや成人に向けてブックリストを作成しています。

3 多様な利用者に対応した図書館サービス

すべての市民が「いつでも だれでも どこでも」気軽に利用できる図書館として平等にサービスを提供します。

(1) 高齢者を対象とした図書館サービス

●現状と課題

○利用者の要望に対応するため、大活字本の収集を増やしています。令和4年度の大活字本所蔵数は2,069冊です。

○拡大読書器は大森図書館のみ設置しています。

▶要望に合わせた読みやすい大活字本や朗読CDなどの収集が必要です。

拡大読書器を大森図書館以外にも設置していく検討が必要です。

○来館が困難な方には自宅まで本などを届ける配送サービスを実施しています。

●主な取組

| 主な取組名称 | 取組の内容 |
|-------------|--|
| 高齢者の読書活動の推進 | <ul style="list-style-type: none">・高齢者層が読みやすい大活字本、朗読CDなどを収集します。・拡大読書器などの読書支援機器を整備します。・自宅等での受け取りを希望する利用者への配送サービスを実施します。 |
| 今後取り組むこと | <ul style="list-style-type: none">・大活字本・朗読CDなどの資料を収集し充実を図ります。・拡大読書器などの読書支援機器の整備を推進します。・来館が困難な利用者へのサービスを実施できる体制等を整備します。 |

(2) 図書館利用が困難な方へのサービス

●現状と課題

○令和4年度の図書館利用が困難な利用者への図書館サービスの利用状況を見ると、録音資料の郵送等のサービスの利用は0件、資料の宅配サービスは8件となっています。

▶利用したい市民にサービスが行き届くよう、広報やホームページ等で図書館サービスについての周知を行う必要があります。

○図書館利用が困難な利用者への図書館サービスについての情報を収集し、職員間で共有しています。

▶千葉県や千葉県公共図書館協会等で実施されている研修に参加ができる環境整備が必要となっています。

○対面朗読サービスや拡大読書器の設置をしていますがほとんど利用されていません。また、対面朗読ができるボランティアの登録を実施していますが、活用実績がない状況です。

▶利用したい人の各サービスの利用を促進するために、積極的に周知を行う必要があります。

大活字本やLLブック、朗読CDなどの資料が少なく、今後、充実を図っていく必要があります。

▶対面朗読サービスについての周知を強化する必要があります。

○図書館では図書館以外に予約資料の貸出し・返却ができる場所として、サザンプラザで予約資料の受取・図書館資料の返却を行っております。

令和7年度から、(仮称)「千葉ニュータウン中央駅圏複合施設」に図書貸出窓口を設置する予定です。

▶利用者の高齢化や図書館から遠く来館することが困難な方への対応として、貸出窓口の増加やブックポストの設置、移動図書館の導入等を検討する必要があります。

●主な取組

| | |
|--------------------------------------|--|
| <p>主な取組名称 障がい者サービスの広報</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報やホームページ等で対面朗読・宅配・録音資料の郵送等、障がい者サービスについて積極的に周知するとともに、利用者の拡大を図ります。 ・関係機関と連携しながら、利用者の要望の聴取に努めます。 |
|--------------------------------------|--|

| | |
|--|--|
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報やホームページ等で障がい者サービスについて周知を積極的に行い、それぞれのニーズにあったサービスが提供できる環境を整備します。 | |
|--|--|

| | |
|---|--|
| <p>主な取組名称 職員のスキルアップ (障がい者対応)</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書バリアフリー法の理念に基づき、具体的な取組を実現していくため職員のスキルアップを図ります。 |
|---|--|

| | |
|--|--|
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉県や千葉県公共図書館協会等で実施している研修へ、職員の積極的な参加を促進し、一人一人のスキルアップを図ります。 ・福祉関係機関等が実施する研修等への参加により、障がい者及び障がいへの理解を深め、対象となる利用者に対し、適切な窓口対応やサービスを提供できるように努めます。 | |
|--|--|

| | |
|------------------------------------|---|
| <p>主な取組名称 ボランティアの育成</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面朗読ができるボランティアの登録を実施します。 |
|------------------------------------|---|

| | |
|---|--|
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの研修等を定期的に行い、利用者の要望に応えられるよう体制を整備します。 | |
|---|--|

| | |
|--|--|
| <p>主な取組名称 環境の整備及び資料の収集・充実</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面朗読室（大森）、拡大読書器（大森）、プレクストーク等を整備します。 ・「宅配サービス実施要領」「録音資料郵送貸出実施要領」等を作成し要望に応えられるよう体制を整備します。 ・大活字本やLLブックや朗読CDなどの資料の収集・充実に努めます。 |
|--|--|

| | |
|--|--|
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大活字本やLLブック、朗読CDなどの資料を収集し充実に努めるとともに、様々な要望に応えられるような体制の整備を図ります。 | |
|--|--|

| | |
|--|---|
| <p>主な取組名称 図書館窓口の設置</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • 図書館以外での図書館資料の受取及び返却場所の増設についての検討を行います。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • 利用者の利便性の向上のため、図書館以外での図書館資料の受取及び返却場所の増設について検討します。 • 近くに図書館資料の受取及び返却できる施設がない地域へ移動図書館の導入を検討します。 | |



読書バリアフリー①

拡大読書器：TV 画面に文字等を大きく映し出す器械です。
 大活字本：通常の本が読みにくい方も読書を楽しんでいただけるよう、内容はそのままに、文字の大きさや行間を大きくし、フォントを工夫して読みやすくなるように作り直した本です。



読書バリアフリー②

対面朗読サービス：読みたい本や雑誌を、専門の対面朗読協力者が代読するサービスです。これにより、活字による読書が難しい方でも読書を楽しむことができます。

朗読 CD：プロのナレーター・声優によって、物語や詩などの朗読が吹き込まれた録音資料です。視力が弱い方や高齢の方も、ラジオや音楽を聴くように、耳だけで「聞く読書」を楽しむことができます。

LLブック：文字を読んだり、本の内容を理解することが苦手な人がやさしく読めるよう、写真や絵、分かりやすい文章、ピクトグラムなどを用いて内容が分かりやすく書かれている本です。

(3) 多文化サービス

●現状と課題

○洋書所蔵冊数は、一般書は 2,342 冊、児童書は 835 冊です。

- ▶主に英語で書かれている資料を所蔵していますが、蔵書数が少ないことが課題となっています。また、英語以外の言語による資料の収集はほとんどできていない状況です。

○外国語の図書館利用案内がなく、日本語学習資料も少ない状況です。

- ▶多言語を使用した図書館利用案内等の作成が必要です。
- ▶地域に暮らす異なる民族、言語、文化的背景を持つ人が、図書館を気軽に利用できるよう、また、異文化への興味や関心を持つ市民が多文化社会への理解を深められるよう、外国語の図書や多様なニーズに合わせた資料・情報の提供が必要です。

●主な取組

| 主な取組名称 | 取組の内容 |
|---|---------------------------|
| 外国語資料の収集・充実 | ・外国人利用者のための外国語資料の充実を図ります。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none">・英語資料だけでなく多言語の資料の収集・充実を図ります。・資料選定のため、職員のスキルアップを図ります。 | |

| 主な取組名称 | 取組の内容 |
|---|---|
| 日本語学習資料の収集 | ・日本で学び生活をする外国人向けの、日本語学習資料や生活に役立つ資料を収集するとともに、情報の提供を行います。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none">・日本語を学びたい外国人のニーズに対応し、日本語学習資料や生活に役立つ資料の充実を図ります。・「利用案内」や「としょかんつうしん」など、図書館で作成している案内の多言語化や外国語を習得している職員の配置などにより、外国人にとってより使いやすいサービスの提供を目指します。・翻訳アプリなどの活用により、各図書館での対応に格差が生じないような工夫を行います。 | |

4 デジタル化への対応 ～非来館型サービスの充実

ICT 技術の進歩など社会の変化に対応できる図書館を目指して、デジタル技術の活用を推進します。

(1) 電子図書館の推進

●現状と課題

○令和4年度末時点で540点ほどの電子書籍を利用者に提供しています。

- ▶社会のあらゆる分野において情報化が進んでいることから、電子書籍の収集・提供にも努める必要があり、あらゆる世代に対応した資料収集と提供に努めることが必要です。
- ▶市民意識調査結果から電子図書館を知らない方がいます。有効的な広報手段が確立できていないことが課題となっています。

●主な取組

| | |
|--|---------------------------------------|
| 主な取組名称 電子書籍の充実 | 取組の内容 ・継続的な電子書籍の選定と提供を行います。 |
| 今後取り組むこと ・子どもから大人まで幅広い世代に認知・利用してもらえるよう、各世代のニーズにあった電子書籍を収集し提供します。 | |

| | |
|--|--|
| 主な取組名称 利用の拡充 | 取組の内容 ・電子図書館の周知を図り、より多くの利用者に電子書籍の利用を促進します。 |
| 今後取り組むこと ・ホームページなどで電子図書館の周知を図り、認知度の向上と利用促進を図ります。 ・電子雑誌等、図書に限らない資料の導入と提供を検討します。 ・音楽配信等、文字媒体に限らない資料の導入と提供を検討します。 | |

(2) ホームページの充実と利用促進

●現状と課題

○令和5年2月に図書館システムの入替えに伴い、図書館ホームページのリニューアルを実施しました。

▶各図書館の催しや利用案内等をお知らせするという広報活動について、図書館ホームページを有効的に活用しきれていないことが課題となっています。

▶SNSを活用した広報活動を実施できていません。

○図書館ホームページでは、図書館からのお知らせのほか、パスワードを使って、図書館システムと連動した資料検索や予約、利用者情報の修正、貸出資料の延長等といった機能を利用することができます。

▶図書館ホームページを活用したレファレンス受付、未所蔵資料リクエストの受付、パスワード交付、開架図での案内等の要望に対応できていないことが課題となっています。

○デジタルディバイドへの対応として、「大人の図書館探検隊」などの事業を通じて、ホームページやWeb-OPACの利用案内と促進を行っています。

▶事業数が限られているのと、事業の参加者数が少ないため、より多くの利用者に利用促進を行える機会を作ることが課題となっています。



OPACとは、図書館や資料館などの利用者が使えるように整備された、オンライン蔵書目録検索システムのことです。OPACは「オーパック」または「オパック」と読みます。インターネットで図書館外からも検索可能なものをWeb-OPACと呼びます。



デジタルディバイドとは、インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のことを言います。

●主な取組

| | |
|---|---|
| <p>主な取組名称 図書館ホームページの充実</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • 図書館からのお知らせ等、利用者に必要な情報を継続して更新します。 • 図書館ホームページについて、継続して利用しやすいデザインや操作性の向上に努めます。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • 継続的な情報更新に努めます。 • 利用者からの要望等を踏まえ、デザインや操作性を改善していきます。 | |

| | |
|--|---|
| <p>主な取組名称 SNS を活用した情報提供</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • SNS を活用した広報活動を行います。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • SNS を導入し、有効的な広報活動の方法を検討します。 | |

| | |
|--|---|
| <p>主な取組名称 Web-OPAC の機能の充実</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • Web-OPAC の機能の充実を図り、継続して利便性の向上に努めます。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • Web-OPAC の充実及び利便性の向上について継続的に検討し、改善していきます。 | |

| | |
|---|---|
| <p>主な取組名称 Web-OPAC の利用促進</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> • Web-OPAC の使い方について講座を開くなど、より多くの人に利用してもらえるような活動を行います。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> • 継続的な利用促進活動を行います。 • Web-OPAC を図書館で実際に使ってもらう実践講座を定期的を開催します。 | |

(3) デジタルアーカイブ

●現状と課題

○印西市にゆかりのある歌人、吉植庄亮の著作4点をデジタル化し、「デジタルライブラリー」として図書館ホームページで公開しています。

▶資料をデジタル化する技術を持った職員が限られており、デジタル化が進まないことが課題となっています。

●主な取組

| | |
|---|--|
| 主な取組名称 資料のデジタル化 | 取組の内容 ・図書館が所有する吉植庄亮のコレクションをデジタル化します。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none">・今後デジタル化する資料に関する基準等運用について検討します。・資料をデジタル化できる技術を持った職員の育成や専門業者への資料のデジタル化の委託等を検討します。・関係機関と情報共有しながら、充実した資料提供を目指します。・吉植庄亮のコレクション以外の著作のデジタル化も継続して検討します。 | |

基本方針2 子どもたちの未来を育み可能性を広げる図書館

1 子どもの年齢に応じた取組の推進

本を読むことで、子どもたちが新しい知識を身に付け、興味を広げ、想像力や表現力を養うことができるよう、読書の楽しさを知り、読書体験を深める機会を提供します。

(1) 乳幼児と保護者

●現状と課題

○各図書館では「おはなし会」を定期的に行っている他、「夏のおはなし会」、「クリスマス会」など季節毎の事業を実施しています。

○おすすめ絵本や紙芝居のセットを作成して貸出を行っています。(小倉台・本埜)

▶「おはなし会」の参加者数は各図書館で差があり、参加者の少ない館でのニーズの把握や周知を図っていく必要があります。

読み手を確保するためにボランティアの育成や連携の充実が課題となっています。

おすすめ絵本や紙芝居のセットの貸出数が減少しているため、広く周知が必要です。

○新刊絵本を紹介するブックリスト「えほんのくに」を年3回作成・発行しています。

▶より充実させるために、年齢層や季節の行事などに対応したブックリストの作成が必要です。

○子どもの発達段階に対応したサービスの向上を目指し、職員のスキルアップのために県立図書館や県公共図書館協会等が主催する研修への参加や研修内容についての情報共有を行っています。

▶幅広い年代の利用者に対して情報提供を行うためには、様々な分野の知識や地域の文化にも精通している職員が必要です。職員の資質向上の為に積極的な研修への参加が必要です。

●主な取組

| | |
|----------------------------|--|
| 主な取組名称 おはなし会等の実施 | 取組の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「おはなし会」を実施します。 ・「おうちでおはなしかい」（本埜）を実施します。 ・「おうちおはなしセット」（小倉台）を実施します。 |
|----------------------------|--|

| |
|---|
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会等の事業を継続して実施します。 ・おすすめ絵本や紙芝居のセット内容の充実を図るとともに、サービスの周知を推進し、利用実績を増やします。 ・すべての図書館で同様のサービス、またはそれに準じた機会を提供できるように取り組みます。 |
|---|

| | |
|----------------------------|---|
| 主な取組名称 ブックリストの作成 | 取組の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「えほんのくに」などのブックリストを作成します。 |
|----------------------------|---|

| |
|---|
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none"> ・幅広いテーマのブックリストを作成します。 ・子どもたちが新しい本に会えるよう内容の充実を図ります。 ・将来の図書館 DX の推進に合わせたブックリストのビジュアル化を検討します。 |
|---|

| | |
|----------------------------|---|
| 主な取組名称 職員のスキルアップ | 取組の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階に対応したサービスの向上や基本から専門までの知識・技能を習得します。 ・研修への参加を促進します。 |
|----------------------------|---|

| |
|--|
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者に対して充実したサービスを提供するため、研修への積極的な参加を促すなど、職員のスキルアップを図ります。 |
|--|

(2) 児童生徒

●現状と課題

○子どもたちが図書館や本に興味や関心を持ってもらえるよう、子どもを対象とした事業を実施しています。

▶子どもたちが図書館や本に関心を持ってもらえるよう新しい事業を企画する必要があります。

○各図書館で、毎月季節や行事・時事に合わせたテーマの展示を行っています。

▶子どもたちの新たな発見につながるよう様々なテーマの展示を行う必要があります。

○小中学生を対象としたブックリストを年1回作成し、各学校や図書館での配布を行っています。

▶内容をより充実させるために、学年や季節の行事などに対応したブックリストの作成の必要があります。

○小中学校へ団体貸出やスクール便によるセット貸出しを実施しています。

▶団体貸出、ブックトーク等の依頼、スクール便の参加校が減少しています。

○毎年、小中学校の職業体験の受け入れを行っています。



スクール便とは、希望する市内小中学校に年3回行う定期配本のことです。小学校1校あたり120冊、中学校1校あたり100冊を配本しています。

●主な取組

| | |
|---|--|
| 主な取組名称 事業の実施 | 取組の内容 ・「スタンプラリー」「図書館探検隊」「科学あそび」などの様々な事業を実施します。 |
| 今後取り組むこと ・現在実施している事業を整理し新たな事業の企画・実施を図ります。 | |

| | |
|---|---|
| 主な取組名称 児童書展示コーナーの充実 | 取組の内容 ・各図書館で児童書の展示コーナーを設け、定期的にテーマを設定し児童書の紹介を行います。 |
| 今後取り組むこと ・子どもの読書活動推進を図るため、展示内容の充実を図ります。 | |

| | |
|--|---|
| 主な取組名称 ブックリストの作成 (小中学生向け) | 取組の内容 ・小学生向けに「ほんのタネ」、中学生向けに「Book de Go!」のブックリストを作成・配布します。 |
| 今後取り組むこと ・小中学生の読書活動推進を図るため、対象年齢に応じたブックリストの内容の充実を図ります。 ・将来の図書館 DX の推進に合わせたブックリストのビジュアル化を検討します。 | |

| | |
|---|---|
| 主な取組名称 学校の読書活動支援 | 取組の内容 ・団体貸出やスクール便等を活用し、学校の読書活動の支援を行います。 |
| 今後取り組むこと ・スクール便の内容の充実を図り利用を促進します。 ・学校への団体貸出に対応するため、学習支援に適した資料を積極的に収集します。 | |

| | |
|--|---|
| 主な取組名称 学校教育との連携強化 | 取組の内容 ・図書館職員と学校図書館関係者等との連携強化を図ります。 ・小中学校の職業体験の積極的な受け入れに努めます。 |
| 今後取り組むこと ・各図書館においてエリア毎に近隣学校との交流を推進します。 ・小中学校の職業体験を積極的に受け入れます。 | |

(3) ヤングアダルト (青少年)

●現状と課題

○図書館にヤングアダルト (青少年) コーナーや専用の棚づくりを行っています。

▶青少年向けの図書資料の所蔵が少ないこと、またその年齢層の図書館利用が少ないことが課題となっており、利用促進の対策が必要です。

また、図書館の規模によっては、ヤングアダルト (青少年) コーナーを作るスペースがないことが課題となっています。

●主な取組

| 主な取組名称 | 取組の内容 |
|---|---|
| ヤングアダルト (青少年) への読書支援 | <ul style="list-style-type: none">各図書館でヤングアダルト (青少年) 向けの資料を集めたコーナーを作り利用促進に努めます。ヤングアダルト (青少年) 向けのブックリストを作成し、市内学校等への配布、ホームページの公開を行い、読書支援を行います。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none">ヤングアダルト (青少年) 向けの資料の充実を図ります。ヤングアダルト (青少年) 対象のブックリストを作成し、利用促進を図ります。各図書館でヤングアダルト (青少年) コーナーの設置を推進します。 | |



図書館における「ヤングアダルト」とは、13歳から18歳の子どもと大人の間世代を指します。図書館では児童書は卒業したものの大人の本はまだむずかしいという世代向けの図書を用意しています。

2 子どもの読書活動の推進

言葉を学び、感性を磨き、表現力・想像力を高め主体的に生きていくために、すべての子どもが読書に親しみながら成長することができるよう、「印西市子ども読書活動推進計画」を踏まえ子どもの読書活動を推進します。

(1) 読書活動を深める機会の提供

●現状と課題

○ブックスタート事業として、子育て支援課が4か月児を対象とした「ころころ相談」に参加した赤ちゃんとその保護者に、絵本と子育て情報をセットにして手渡しています。図書館は、この手渡す絵本の選定会議に参加をしています。

▶読み聞かせや絵本の手渡しは子育て支援課のボランティアが行っており、図書館職員の読み聞かせ等の派遣がないことから、実状を把握する必要があります。

○健康増進課では母子健康手帳交付時におすすめ絵本のリストを配布しています。図書館は、このおすすめ絵本のリストの作成を行っています。

○図書館では資料の収集や読書相談を行うほか、幼児や小学生を対象とした定期的な「おはなし会」の開催や展示による本の紹介などを行っています。また、図書館探検隊など図書館業務体験ができる事業の実施、市内小中学校の施設見学や職業体験の受け入れを行っています。

▶おはなし会の参加者数や見学・体験の申込数は各図書館で差がある状態です。より魅力的な事業の提案や周知が課題となっています。

○団体貸出や読書相談による読み聞かせ支援を行っています。また、子育て支援センター等へ講師派遣をして、読み聞かせや読み聞かせ講座を行っています。

▶職員数が不足しているため、講師派遣の調整を図る必要があります。



ブックスタートとは、0歳児健診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。

赤ちゃんの幸せを願い、行政と市民が協働する自治体の事業として、全国で行われています。

●主な取組

| | |
|---|--|
| <p>主な取組名称 家庭における読書活動の推進</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業や母子健康手帳交付時に絵本のリストの配布を行います。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課と連携しブックスタート事業を継続します。 ・ブックスタート事業については、関係各課がそれぞれの経験や情報を活用し、相互の事業の向上を図ります。 | |

| | |
|--|--|
| <p>主な取組名称 図書館での読書活動の推進</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の収集・保存・読書案内を実施します。 ・おはなし会や展示などによる本の紹介を行います。 ・図書館見学や図書館業務体験活動の充実を図ります。 ・市内小中学生の職業体験学習の受入れを行います。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの年齢・発達・興味・関心を踏まえた資料収集を行い、おはなし会等の事業や読書案内の充実をめめます。 ・図書館を身近なものに感じてもらえるように図書館見学や体験の機会を増やし、職業体験の受入れ等も積極的に行っていきます。 | |

| | |
|---|--|
| <p>主な取組名称 関連施設での読書活動の推進</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センター・保育園等と連携を図り、絵本や紙芝居の団体貸出の他、読み聞かせ講座等を行います。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書相談や読書案内ができるよう図書館職員のスキルアップを図り、各施設への読書支援を行います。 ・円滑な運営に必要な図書館職員数の確保に努めます。 | |

(2) 読書環境の整備

●現状と課題

○図書館では読書相談における助言・情報提供を行っています。図書については計画的な購入を行っていますが、外国語資料についてはあまり収集をしていない状態です。

▶図書資料購入冊数が年々減少しています。増加する人口に対して資料購入が少ないことから市民の多様な資料要求に応えられていないことが課題です。また、外国語資料を収集するための知識や情報収集が不足しています。

○生涯学習まちづくり出前講座では「読んであげよう！」や「本の修理講習」の実施や講師派遣を行っており、毎年学校の図書ボランティア等から依頼があります。

○各図書館に「書籍除菌機」の設置、非来館型サービスとして電子図書館及び図書館資料有料配送サービスを導入し、安心安全に資料提供できる環境整備に努めました。

○図書館職員が学校図書館担当者会議及び学校司書連絡会へ参加し、学校図書館に関する成果と課題の共有を図っています。

▶学校図書館担当者等との連携及び図書館サービスの広報活動が不足している状態です。活動目的の共有を含め、連携体制の強化が課題となっています。

○図書館のおはなし会等の事業を、図書館ボランティアと協力して行っています。

▶事業の充実のため、関連施設（公民館や子育て支援センター等）や地域で活動している読書ボランティアとの交流や情報交換をする機会の創出が課題となっています。

●主な取組

| | |
|---|---|
| <p>主な取組名称 図書館資料の整備と活用の充実</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書相談における助言や情報提供の充実を図ります。 ・外国語資料を含む図書資料の計画的な選定と購入を進め、蔵書の充実を図ります。 ・出前講座「読んであげよう!」「本の修理講習」の実施及び講師派遣を行います。 |
|---|---|

| | |
|---|--|
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の講義内容の見直しや充実を図り、依頼に応えられるような体制を整えます。 ・幅広い分野の情報提供ができるよう、買い替えなども含め適切な資料収集を推進し、図書館資料の充実に努めます。 ・市内で生活する子どもへの外国語資料も充実を図ります。 | |
|---|--|

| | |
|-------------------------------------|---|
| <p>主な取組名称 学校教育との連携強化</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館職員と学校図書館担当者等との連携強化を図ります。 ・小中学校の職業体験の積極的な受け入れに努めます。 |
|-------------------------------------|---|

| | |
|---|--|
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各図書館においてエリア毎に近隣学校との交流を推進します。 ・小中学校の職業体験を積極的に受け入れます。 ・学校図書館担当者等との連携を強化します。 | |
|---|--|

| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>主な取組名称 ボランティアとの連携協力</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書ボランティア等と連携・協力体制をつくり、子どもの読書活動を支える体制を整えます。 |
|---------------------------------------|---|

| | |
|---|--|
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動している読書ボランティア、関連施設との情報交換の場を設けるなど、連携・協力体制の充実を図ります。 ・図書館が地域と子育て世代をつなげる場のひとつとなるよう、読書ボランティア等の意欲やアイデアが十分に発揮できる環境を整備します。 | |
|---|--|

(3) 情報の普及・啓発

●現状と課題

○「としょかんつうしん」やブックリスト「えほんのくに（幼児）」、「ほんのタネ（小学生）」、「Book de Go!（中学生・高校生）」を発行し、読書活動の推進を行っています。

▶一定の効果はあるものの、周知が不足している状態です。対象者に向けて効果的にアピールする手法を検討する必要があります。

○学校図書館担当者会議で学校図書館に関する成果と課題の共有を図っています。また、ブックスタート事業では配布する絵本の選定を行っています。

▶学校図書館担当者等との連携及び図書館サービスの広報活動が不足している状態です。活動目的の共有を含め、連携体制の強化が課題となっています。

●主な取組

| 主な取組名称 | 取組の内容 |
|-----------------------------|--|
| 主催事業やブックリストなどの子どもの読書活動事業の周知 | <ul style="list-style-type: none"> ・「としょかんつうしん」やブックリスト「えほんのくに（幼児）」「ほんのタネ（小学生）」「Book de Go!（中学生・高校生）」を発行し読書活動を推進します。 |

今後取り組むこと

- ・発行物については、印刷物以外の媒体による公開の検討を行い、SNS等の活用を含めた情報発信を図ります。
- ・情報発信の手法は定期的に見直しを行い、その時代に合った手段で、対象者に効果的に発信できるように努めます。

| 主な取組名称 | 取組の内容 |
|-----------------|--|
| 関連施設との連携協力による広報 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館担当者会議での情報交換を行います。 ・ブックスタート事業へ参加します。 |

今後取り組むこと

- ・学校図書館担当者会議での情報共有を通じて図書館活動への理解を深めてもらい、学校との連携強化を図ります。
- ・ブックスタート事業では現場の情報を積極的に収集し、図書館事業との相互発展を図ります。

基本方針3 市民のくらし、地域の拠点となる図書館

1 市民との連携 図書館活動への参加

市民の参加や協働により利用しやすい地域の情報拠点としての図書館を目指します。

(1) 図書館ボランティア活動の促進

●現状と課題

○図書館ボランティアについては、おはなし会や企画事業など、様々な形で地域の読書活動を支えています。

- ▶平成 25 年度から図書館ボランティアの登録を開始していますが、講座・事業での連携以外にも、ボランティアの活用を検討する必要があります。
ボランティアの登録の更新、ボランティアを対象とした研修の実施が課題となっています。

●主な取組

| 主な取組名称 | 取組の内容 |
|---------------------|--|
| 図書館ボランティアとの連携・支援・育成 | <ul style="list-style-type: none">・図書館ボランティアと連携した講座・事業を実施します。・ボランティアの育成及び活動の場を提供します。 |
| 今後取り組むこと | <ul style="list-style-type: none">・より充実した内容の講座・事業を実施するため、図書館ボランティアとの連携を強化します。・図書館ボランティアを対象とした研修等を定期的実施し、習得した技術をスキルに活かすための場を設けます。・「図書館ボランティア受入実施要領」やマニュアルの見直しを行います。 |

(2) 市民団体との連携

●現状と課題

○地域で読書活動を推進している市民団体への図書館資料の貸出しや図書館の事業に講師やボランティアで参加していただくなど、お互いに協力して行っています。

▶読書団体以外に地域で活動している団体との交流や連携がほぼありません。

●主な取組

| | |
|--|---|
| 主な取組名称 読書会や文庫等への資料の提供 | 取組の内容 <ul style="list-style-type: none">・団体の要望に応じた図書館資料の貸出を行います。・資料によっては他自治体の図書館から資料の取り寄せを行います。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none">・要望に応じられるよう資料の充実を図ります。 | |

| | |
|---|--|
| 主な取組名称 事業の協力 | 取組の内容 <ul style="list-style-type: none">・おはなし会等の図書館事業へ市民団体に協力・参加していただきます。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none">・継続して団体と協働し、図書館を身近に感じられるような新たな読書推進事業の充実を図ります。・活動を支援し、広く紹介していきます。 | |

2 関係機関との連携

行政部署や関係機関との連携により本と情報に出会う機会となる事業を展開します。

(1) 行政部署や関係機関との連携

●現状と課題

○行政各部署や関係機関と連携し、ブックスタート事業や環境月間展示等、共催事業や企画展示の実施を行っています。また、業務で必要な資料を依頼に応じて提供しています。

▶図書館利用のPRが不足しており、図書館活用の機会が少ない状態です。

行政各部署や関係機関と連携し共催事業や企画展示の実施により、多くの市民が本と情報に出会う機会が必要です。

●主な取組

| 主な取組名称 行政機関等との連携 | 取組の内容 ・資料の提供や事業の連携を図ります。 |
|---|-----------------------------|
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none">・より活用してもらえるよう行政機関へ図書館利用推進を図ります。・共催事業の実施などにより協力関係の充実を図ります。・様々な依頼に応えられるような資料の充実を図ります。 | |

基本方針4 住みよさを実感できる図書館

1 市民の居場所としての環境の充実

市民が集う活気のある居心地の良い魅力ある図書館を目指し環境の充実を図ります。

(1) 施設設備の維持管理

●現状と課題

○「印西市公共施設長寿命化計画」及び「印西市公共施設適正配置アクションプラン」に基づき、保全改修を行っているところです。

大森図書館は令和2年1月～令和3年2月27日、そうふけ図書館は令和3年5月～令和4年1月27日、小林図書館は令和4年10月～令和5年9月30日に保全改修を行いました。今後は印旛図書館、本埜図書館、小倉台図書館の保全改修工事を順次行う予定です。

▶**工事中の運営について、利用者への配慮が必要です。**

○人口の変化及び年齢構成に対応した新しい図書館が求められています。

▶**現時点では具体的な計画はありませんが、情報収集及び研究調査が必要です。**

○資料を保存する書庫が不足しています。

▶**資料の保存を継続するため、書庫の増設や保存場所の確保が必要です。**

事務室や書庫などのバックヤードが不足しているため必要なスペースの確保が必要です。

○小倉台図書館以外の5館は複合施設のため、図書館の事業（講座等）では公民館等の施設を利用して行っています。小倉台図書館の集会室は小さいため事業に制限があります。

●主な取組

| | |
|--|---|
| <p>主な取組名称 適切な施設設備の維持管理</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全・安心に図書館を利用できるよう、計画的に適切な施設設備の維持管理に努めます。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の老朽化等による不具合の解消に努めます。 ・省資源・省エネルギーを念頭に置いて施設設備の維持管理に努めます。 ・改修時において、書庫等バックヤードのスペースの増設を検討します。 | |

| | |
|---|--|
| <p>主な取組名称 新規施設の整備検討</p> | <p>取組の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口の変化及び年齢構成に対応した図書館サービスを提供できるよう新規施設の整備の検討を行います。 |
| <p>今後取り組むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印西市公共施設整備基本方針に基づき、適切に図書館サービスを提供できるよう、施設の統廃合、集約化、複合化を含めた新規施設の整備を検討します。 ・資料を保存する書庫の確保、施設のバリアフリー化、集会室や会議室、学習スペースや集いのスペース、駐車場の確保等も念頭に置いた検討を行います。 | |

(2) 快適な環境の提供

●現状と課題

○利用者から読書や調べ物をするための閲覧席の増加の要望があります。

▶各図書館とも閲覧席を増設するスペースがなく、対応策が課題となっています。

○図書館でのインターネット閲覧のデータベースについては、国会デジタル化資料送信サービスを導入して利用者のニーズに対応しています。

▶現状では新聞等の有料データベースが未導入となっています。

○市民意識調査結果にもあるように、フリーWi-Fiの導入が望まれています。

○大森図書館及び小倉台図書館では毎週水曜日 19 時まで開館時間の延長、祝日開館を行っています。

▶大森図書館・小倉台図書館以外の開館時間の延長や祝日開館が求められています。

●主な取組

| | |
|--|---|
| 主な取組名称 閲覧席の設置 | 取組の内容 ・利用者の館内での図書館資料の閲覧に対応するため各図書館に閲覧席を設置します。 |
| 今後取り組むこと ・閲覧席の配置を工夫し、増設を検討します。 ・各図書館でレイアウト替えを行い、利用者のニーズに合った閲覧席を確保します。 | |

| | |
|--|--|
| 主な取組名称 館内での資料閲覧への対応 | 取組の内容 ・利用者へのインターネット閲覧環境の拡充を図ります。 |
| 今後取り組むこと ・新聞等の有料データベースの導入を進めます。 ・図書館のインターネット支援サービスの環境を整えます。 ・各図書館のフリーWi-Fi 環境の整備を進めます。 | |

| | |
|---|--|
| 主な取組名称 利用者ニーズに応じた図書館の開館時間 | 取組の内容 ・大森図書館及び小倉台図書館では、毎週水曜日 19 時まで開館時間の延長及び祝日開館を行っています。 |
| 今後取り組むこと ・開館時間及び開館日数の設定について、地域の実情や市民の生活時間等により検討が必要です。 | |

2 専門職員の充実と育成

子どもから大人までの幅広い年代の利用者に対して図書館サービスを提供するため司書資格を有する正規職員の確保や配置に努め、職員のスキルアップを図ります。

(1) 継続的な司書の確保及び職員配置

●現状と課題

○市立図書館6館の職員は令和4年度末時点で、正規職員17名で、そのうち司書採用職員を含む司書資格保有者は6名です。司書資格を保有している任期付職員が8名となっています。

- ▶司書資格を有した正規職員を6館すべてに配置することができていません。
- ▶継続した図書館サービスを行うためには、司書資格を有する正規職員の確保が必要です。

●主な取組

| | |
|--|--|
| 主な取組名称 司書資格者の確保 | 取組の内容 <ul style="list-style-type: none">・司書資格を有する職員の確保に努めます。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none">・現職員の年齢等を考慮した計画的な人的配置を検討し、司書資格を有する正規職員の確保に努めます。・司書資格を有する職員の各図書館への配置に努めます。 | |
| 主な取組名称 職員配置の充実 | 取組の内容 <ul style="list-style-type: none">・適正な人員を配置します。・任期付職員及び会計年度任用職員の採用を行います。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none">・充実した図書館サービスを達成するために適正な配置に努めます。 | |

(2) 職員の資質・能力の向上

●現状と課題

○県立図書館や県公共図書館協会等が主催する実践的研修へ参加し、研修で得た情報を職員間で共有しています。

- ▶幅広い年代の利用者に対して情報提供を行うためには、様々な分野の知識や地域の文化にも精通している職員が必要です。職員の資質向上の為に積極的な研修への参加が必要です。また、近年実施されているe-ラーニング形式の遠隔研修の活用が求められています。
- ▶各図書館の職員が少ないため研修に参加する機会が少ない状態です。
- ▶図書館内での研修、共通意識が不足しています。

●主な取組

| | |
|--|--|
| 主な取組名称 職員の能力向上 | 取組の内容 <ul style="list-style-type: none">・県立図書館や県公共図書館協会や行政等が主催する実践的研修への積極的な参加を促進します。・課題解決に向けた自主研修を励行します。・研修で得た情報を職員間で共有します。 |
| 今後取り組むこと <ul style="list-style-type: none">・職員の資質向上の為に積極的な研修への参加を促進します。・遠隔研修への参加を促進します。・職員の自主研修を励行します。・研修内容を職員間で情報共有するため研修の機会をつくります。 | |



e-ラーニングとは、パソコンを使用し、インターネット上でできる教育・学習形態のことです。IT 技術を活用した教育システムで、24 時間いつでも、どこでもアクセス可能なことから、受講者を時間や場所の束縛から開放する利点があります。

第5章 計画の推進に向けて

図書館サービス計画を進めていく基盤として、財源の確保及び、適切な施設の整備に努めます。

また、市民により良いサービスを提供するために、司書資格を有する正規職員の確保に努めるとともに、図書館職員のスキルアップを図るため、研修への参加を強化します。

1 サービス計画評価の指標

図書館サービス全体の指標を設置し、毎年の状況を調査、確認します。

| 基本方針 | 指標 | 令和4年度 (現状値) | → | 令和15年度 (目標値) |
|------|---------------|----------------|---|-----------------|
| 1 | 図書資料受入点数 | 10,486 点 | → | 15,000 点 |
| 1 | 個人貸出点数 | 814,954 点 | → | 824,500 点 |
| 1 | 資料予約件数 | 142,449 件 | → | 190,000 件 |
| 1 | レファレンス件数 | 18,873 件 | → | 25,400 件 |
| 1 | 電子書籍受入点数 | 295 点 | → | 500 点 |
| 1 | 電子書籍貸出点数 | 988 点 | → | 1,500 点 |
| 2 | 児童資料貸出点数 | 346,295 点 | → | 352,000 点 |
| 2 | 児童資料受入点数 | 2,429 点 | → | 3,400 点 |
| 2 | 児童対象事業数 | 38 事業/年 | → | 40 事業/年 |
| 3 | ボランティアとの連携事業数 | 6 事業/年 | → | 15 事業/年 |
| 4 | 職員研修等の充実 | 13 回/年 | → | 20 回/年 |

2 計画の進行管理

計画の進捗状況を把握するため、第4章基本方針の実現に向けた図書館サービス計画の各施策の「主な取組」について、毎年、取組状況の調査を実施し、各取組みや指標目標の達成状況等に関し内部評価を行い、印西市立図書館協議会に報告し第三者評価を受け、図書館運営の改善に努めます。

計画期間は令和6年度から令和15年度の10年間ですが、計画の中間年度にあたる令和10年度に中間評価を実施し、計画の達成状況、図書館を取り巻く社会状況の変化、上位計画の変更を踏まえて、施策の見直し等を行います。

計画の最終年度（令和15年度）には、サービス計画の達成状況を評価し、次期計画策定に反映するものとします。

